

シャノンwind NS×50

当社の商品を長く安全にご使用いただくため

取扱説明書

本書に掲載されていること

- 安全にご使用するために知っていただきたい現象
- 設置されている窓・網戸・玄関ドアのこと
- お手入れのこと
- 調整方法・FAQのこと
- アフターメンテナンスのこと



<お願い>

販売店・工務店・建築会社のかたへ

この取扱説明書は施工後、お施主様へお渡しください。



EXCEL SHANON

株式会社 エクセルシャノン

はじめに

知っていただ
きたい現象

窓を
調べる

網戸を
調べる

窓の
お手入れ

網戸の
お手入れ

玄関ドアの
使い方・お手入れ

修理・
メンテナンス

はじめに

このたびはエクセルシャノンの商品をご購入いただき、
まことにありがとうございます。

本書は商品を長く安全にお使いいただくために、
取扱いに関して必要事項を説明しています。

商品をご使用の前に本書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、本書を大切に保管してください。

ご使用の商品が本書に掲載されていない場合もありますので、
エクセルシャノンホームページもご確認ください。

エクセルシャノンホームページ

■シャノンウインドNS50

<https://www.excelshanon.co.jp/NS50/>

■シャノンウインドNS50防火

<https://www.excelshanon.co.jp/NS50/bouka/>

■玄関ドア ベルカム5

<https://www.excelshanon.co.jp/product/bellcome5/>

お客様サポート・取扱説明書 (Web版)

<https://www.excelshanon.co.jp/support/>

カタログ

<https://www.excelshanon.co.jp/catalog/>



本書で説明している主な商品

超断熱三層複層ガラス樹脂サッシ

シャノンウインド NS×50 G3

超断熱三層複層ガラス防火樹脂サッシ

シャノンウインド NS×50 G3 防火

複層ガラス樹脂サッシ

シャノンウインド NS×50 G2

断熱玄関ドア K2仕様

BELLCOME 5

目次

はじめに	1
知っていただきたい現象	11

- 日常生活
- 窓・サッシの特性
- 網戸の特性
- 結露
- 高性能Low-Eガラスの特性
- ガラスの熱割れについて
- 玄関ドアや素材などについて
- アルミの特性について
- ドア表面の特性
- ステンレスの特性
- ドアクローザについて
- 腐食について
- 落雷による影響

サッシ	窓を調べる	窓のお手入れ
引違い窓／片引き窓	27	57
縦すべり出し窓／縦すべり出し採風窓	29	65
横すべり出し窓	31	66
大開口横すべり出し窓	33	66
高所用換気窓	35	68
外開き窓	37	69
バルコニー窓	39	69
勝手口ドア	41	69

網戸	網戸を調べる	網戸のお手入れ
引違い網戸	45	74
横引きロール網戸S／横引きロール網戸D	49	78
横引き網戸（バリアフリー横引き網戸）	50	78
アップロール網戸	51	78
高所用換気用網戸	—	76
縦ロール網戸（ループレス仕様）	52	77

玄関ドア	80
玄関ドアの使い方	80
ドアガードのセット方法	83
ドアガードの採風機能セット方法	85
ドアクローザについて	88
ドアのお手入れ	89

修理・メンテナンス	93
修理依頼について	93
製品の確認方法	93
商品保証について	94

本書の流れ

必要な説明は次の方法でお探しいただけます。

Chapter1 安全にご使用いただくために

- 安全にご使用するために (P.5)
- 知っていただきたい現象 (P.11)

Chapter2 お使いの窓／網戸／玄関ドアを調べる

- お使いの窓 (P.25)
- お使いの網戸 (P.43)
- 玄関ドア (P.80)

窓の使いかた

- ・名称
- ・バリエーション
- ・取付けできる網戸
- ・開け方・閉め方
- ・その他操作方法

網戸の使いかた

- ・名称
- ・開け方・閉め方
- ・注意事項

玄関ドアの使いかた

- ・名称
- ・開け方・閉め方
- ・その他操作方法

Chapter3 窓／網戸／玄関ドアのお手入れ 修理・メンテナンス

- 少し変だなと思ったら／困った時に (P.53、P.73、P.89)

窓について

- ・調整方法
- ・お手入れ方法
- ・FAQ

網戸について

- ・調整方法
- ・お手入れ方法
- ・FAQ

玄関ドアについて





- ・調整方法
- ・お手入れ方法

- 商品保証 (P.94)






安全にご使用いただくために











表示の種類と説明

本書では、製品を安全に使うためのマークを表示しています。表示を無視して誤った取扱いをすると人身事故や損害などになることがあります。内容を十分ご理解の上、安全に製品をご使用ください。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
 指示	必ず行うこと。
 禁止	してはいけないこと。

注意事項






記号	意味
 指示	風が強いときは窓・玄関ドアを閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。やむをえず開閉が必要な場合は、ハンドルやドアノブをしっかりとって操作してください。
 指示	はずれ止めが正しくセットされていることを確認してください。窓・網戸がはずれて落下することがあります。
 禁止	窓・網戸・ガラス・玄関ドアに物をぶつけたり、無理な力を掛けたりしないでください。破損や落下により、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 禁止	窓・網戸に寄りかからないでください。網戸ネットが破れたり、窓（網戸）がはずれたりすると、落下・転落のおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
 禁止	窓やハンドル、ひもなどにぶら下がったりしないでください。窓やハンドル、ひもなどが破損し、思わぬ事故やけがにつながる可能性があります。特にお子様にはご注意ください。







記号	意味
 指示	ポータブル灯油ストーブなどをご使用の際は、定期的に室内の換気を行ってください。
 禁止	窓・網戸にストーブ・ドライヤーやタバコの火など高温のものを近づけないでください。変形や破損、火災のおそれがあります。
 禁止	窓の近くにベッド・机などを配置する場合は、お子様の踏み台にならないよう十分注意してください。 転落などの事故につながるおそれがあります。
 禁止	窓・網戸の操作ひもに体を巻き付けたり、ぶら下がったりしないでください。落下や窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。 使用しない時は、操作ひもをお子様の手が届かない位置で束ねてください。
 禁止	窓台や窓枠などにお子様や物を乗せないでください。落下や転落のおそれがあります。
 禁止	電装機器の分解・改造はしないでください。火災や感電など事故のおそれがあります。
 禁止	窓・網戸・玄関ドアの部品にひもなどをかけ、引っ張ったり、ものをかけたりしないでください。 破損や落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。
 禁止	お手入れや調整で窓（網戸）を取付け、取はずしたり、ボックスカバーなどを開けた場合は、必ず元の状態にお戻しください。
 注意	ペットの爪などがネットに引っ掛からないようご注意ください。
 禁止	窓・網戸など製品本体にはブラインド用のブラケットやカーテンレール用のねじなどは止めないでください。破損の原因になります。

お知らせ

- 外出や就寝の際は、必ず窓・玄関ドアを閉め、施錠してください。
サブロックや補助錠なども忘れずにロックするようにしてください。
- 開いている窓・玄関ドアや部品にぶつからないようご注意ください。
思わぬけがや破損につながるおそれがあります。

窓・網戸・玄関ドアの開閉時の注意事項について

記号	意味
 指示	窓・網戸・玄関ドアの開閉は、周囲に人や物がいないことを確認して行ってください。ぶつかったりして思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
 指示	窓の種類によっては、窓を開閉するときに、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。
 禁止	窓・網戸・玄関ドアの開閉は、必ずハンドルや引手、ドアノブ、操作チェーンなどを正しく持って行ってください。枠と窓・ドア本体、網戸のすき間、アーム部などの部品や丁番のすき間に、手や指、足などを置かないでください。突風などで急に開閉したとき、手や指、足などがはさまれ、思わぬけがにつながるおそれがあります。
 指示	窓・網戸・玄関ドアの開閉は、無理なくゆっくりと静かに行ってください。想定を超える操作をしたり、衝撃を与えると、破損や窓・網戸の落下、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
 指示	玄関ドアの開閉は採風窓などを閉めてから行ってください。急に開閉しドアにぶつかったり、手や指がはさまれ、思わぬけがにつながる恐れがあります。

記号	意味
 禁止	操作チェーンで開閉する際は、強くひっぱらないでください。ひもの破断や破損、窓・網戸の落下、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
 禁止	窓（網戸）の開閉は、カギが開錠された状態で行ってください。施錠された状態で開閉操作を行うと、窓（部品）を破損するおそれがあります。
 指示	ハンドルや丁番などのグラつき、開閉時の障子のガタつき、ねじのゆるみがないかなど、定期的に点検してください。そのまま使用するとハンドルが外れたり窓が外れたりするおそれがあります。
 禁止	ボックスカバーがある網戸は、ボックスカバーを開けたまま手を放して放置しないでください。 ボックスカバーを開いている間は、網戸本体を取はずせる状態になるため、落下するおそれがあります。
 指示	調整器の開閉力は定期的に調整してください。ゆるんでいると風にあおられて障子が破損するおそれがあります。
 禁止	玄関ドアのドアガードを外す場合は、アームの内側に指を入れないでください。外部側より突然ドアを開けられた場合などに指をはさまれるなど、思わぬけがにつながるおそれがあります。

台風や暴風雨時の備え

台風や暴風雨は、窓の性能を超える風雨を伴うこともあります。暴風雨が近づく前にあらかじめ対策をしておくことが大切です。



指示

強風時には、窓や玄関ドアは開けないでください。強風にあおられて窓が破損したり、建物内に大きな被害を受けるおそれがあります。暴風時には、窓のすき間から雨水が入り込みやすいので、雨戸やシャッターは必ず閉めてロックしてください。

台風や暴風時は、強風による窓・網戸の落下により大きな事故につながるおそれがあります。事前に窓などを点検・確認し、不具合などを発見した際は、建築会社へ相談してください。

台風が来る前に

●庭やベランダ・バルコニーに出ているものを片づけておく

屋外に飛ばされそうなものがある場合は、室内に入れるか、しっかり固定しておいてください。強風で飛ばされるとガラスが破損したり、落下するため危険です。

●窓の下枠などを清掃する

窓の下枠やレールなどの排水溝や排水穴を掃除してください。砂やゴミ、落ち葉などがたまっていると、水があふれて室内に浸水するおそれがあります。

●窓周辺に濡れて困るものは置かない

強風により、窓付近から雨水が吹き込むおそれがあります。雑巾やタオルなどを準備しておいてください。

●窓・網戸のはずれ止めを必ず確認しておく

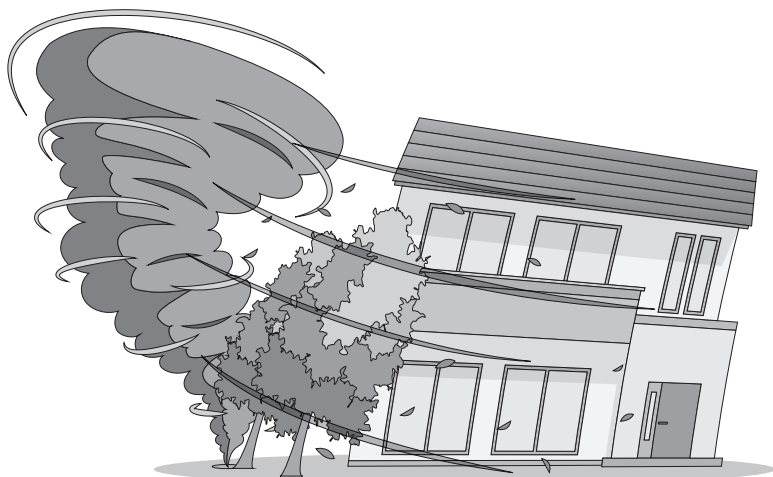
はずれ止め部品がセットされていることを必ず確認してください。セットされていない場合は、強風で飛ばされたり落下したりするおそれがあります。

●ハンドルやクレセントのねじがゆるんでいないか確認する

ねじがゆるんでいる場合は締めなおしてください。ゆるんでいると、部品が落下したり、窓があいて障子が飛ばされるおそれがあります。

●窓や雨戸、シャッターを閉めてロックする

窓やドアなどは、クレセント、ハンドルなどを確実に閉めて、ロックしてください。



台風が来たら

●雨水が吹き込んだ場合は、雑巾やタオルなどを窓枠にあてておく

濡れた雑巾などで、木額縁やクロス、床などが水シミにならないよう注意してください。

●窓やドアの開閉を控える

窓やドアの開閉はできるだけ控えてください。開閉する場合は、強風により窓があおられて破損するおそれがあるので注意してください。

台風が通過したら

●台風の通過後に点検を行なう

窓やドアの開閉に支障、破損がないかなど点検してください。不具合が発見された場合は、建築会社へ連絡してください。

知っていただきたい現象

日常生活や環境において、商品の使用中にさまざまな事象が発生する可能性があります。

商品の不具合ではなく、機能や材質の特性などの面から起こり得る各事象の特性について解説します。

日常生活

引違い窓系の気密構造とすき間風

引違い窓は障子をレールに乗せて、戸車でスライドさせる構造です。全閉時に障子とレールのすき間を塞ぐために気密部品などが取付いていますが、構造上、全閉時でもすき間風を完全に防ぐことはできません。

強風時や換気扇使用時の笛鳴り現象

窓を閉めきった状態で強風が吹いたり、換気扇を使用すると、笛のように音が鳴る現象が発生することがあります。これを『笛鳴り現象』といいます。引違い窓は、全閉時に障子とレールのすき間を塞ぐために気密部品が取付いています。換気扇を使用すると、室内の空気が外に排出され、同じ量の空気が窓のすき間などから入ろうとします。その際、気密部品の接触部などを通り抜ける空気が、笛を吹くような音を発することがあります。対処方法として、窓を少し開けることで音が静かになる場合があります。

結露

室内の環境条件によっては、樹脂サッシを使用していても、結露が発生する場合があります。(結露のメカニズムは、P.13参照)



窓・サッシの特性

サッシ・網戸の色について

- ・樹脂サッシはフレーム同士を溶着し接合しています。そのため接合部に段差や溶着塊があったり、仕上げの塗装（タッチアップ塗装）を施されていると、色が異なって見える場合があります。
- ・特にルーセントシルバー色のメタリックな色調は、光の反射具合などにより、色が異なって見えることがあります。また、製造工程上、白いスジが発生することがあります。
- ・樹脂やアルミ、スチールなどは、材質の違いにより同じ商品色でもわずかに色味が異なります。

サッシの伸縮について

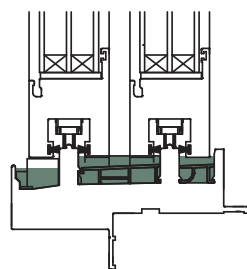
ガラスを固定する樹脂部材は、温度変化により長さが多少伸び縮みし、わずかなすき間が発生することがあります。性能・機能に影響はありません。

サッシの熱反りについて

熱を伝えにくい樹脂サッシは、内外温度差が高い場合、屋外側の表面温度で伸びる長さや室内側の表面温度で伸びる長さに差が生じ、一時的に熱反りが発生する場合があります。特に濃い色については熱を吸収しやすい傾向があり、熱反りが発生する場合があります。

引違い窓などの下枠の雨水たまりについて

引違い窓は下枠のレール部に水がたまることによって水密性能を高める構造になっています。製品の不具合ではなく、溜まった水は自然に流れていきます。



網戸の特性

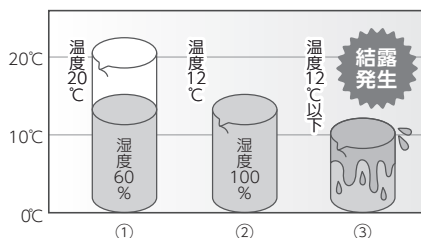
- ・網戸を閉めていても、まれに虫が侵入する場合があります。
虫の種類や大きさ、侵入経路によっては完全に侵入を防ぐことはできません。網戸を正しく使用することで、侵入抑制効果を向上させることができます。
- ・網戸はシワ、よれ、たるみ、折れ目などが付きやすい・目立ちやすい場合がありますが、製品の不具合ではありません。また防虫性などの品質機能に問題はありません。

結露

結露のメカニズム

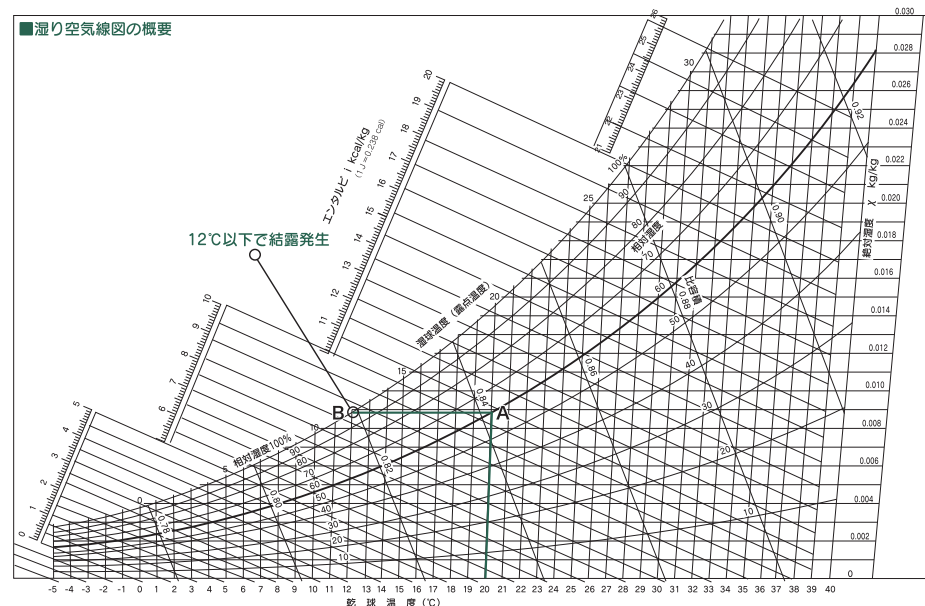
空気中には、必ず水分が「水蒸気」の形で含まれています。水蒸気の量（飽和水蒸気量）は温度が高いほど増加し、温度が低いほど減少します。湿気を含んだ空気が冷たいものに触れて、温度が低下すると、空気中に含まれていた水蒸気の一部は気体として存在できなくなり、水滴となります。この現象が『結露』で、結露し始める温度を『露点』といいます。

露点は、湿り空気線図（下図）で求めることができます。



相対湿度と露点の関係 ※温度20℃の場合	
相対湿度 (%)	露点 (℃)
90	18.3
80	16.4
70	14.4
60	12.0
50	9.3
40	6.0
30	1.9
20	-3.6

例えば、温度20℃、湿度60%の空気は、湿り空気線図上のA点となります（図①）。この空気の温度が下がり飽和状態（湿度100%）となるのが、露点温度12℃のB点となります（図②）。露点温度を下まわると結露が発生します（図③）。



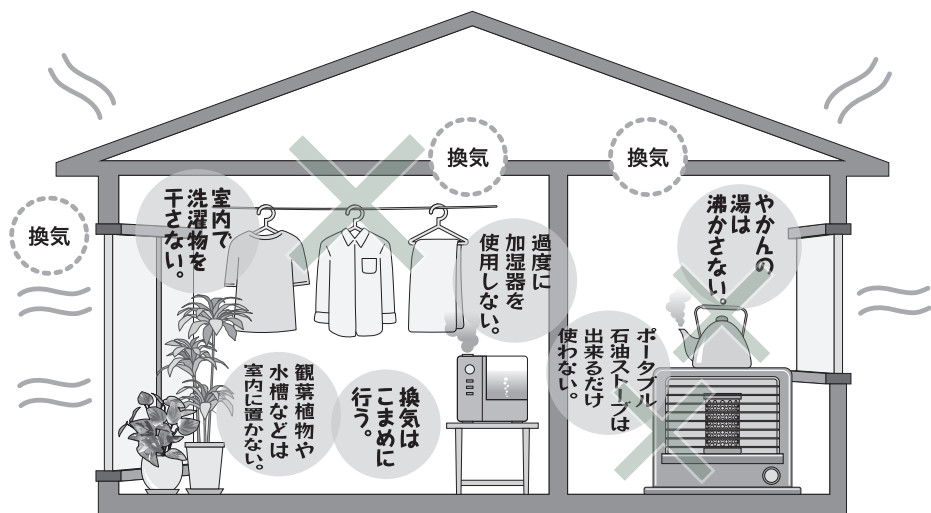
結露が発生した場合は

窓ガラスや窓枠に結露が発生した場合は、木部の腐食、窓並びに窓付近の汚れ防止のために、こまめに拭き取ってください。

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生するもので、窓の不具合ではありません。室内の環境条件によっては、樹脂サッシを使用していても、結露が発生する場合があります。

窓の結露を抑えるには

- ・換気はこまめに行う。
- ・室内で洗濯物を干さない。
- ・観葉植物や水槽などは室内に置かない。
- ・過度な加湿器の使用は控える。
- ・調理中は換気し、調理後もしばらくは換気する。
- ・入浴中は換気を行い、入浴後はお風呂のフタ・浴室ドアを閉め、しばらくは換気する。
- ・ポータブル式石油ストーブは完全燃焼すると水分を生成するので、できるだけ使用を控える。
- ・ストーブの上でやかんの湯を沸かさない。
- ・計画換気システムは切らずに常時運転をする。
- ・室内の相対湿度を適性に保つ。



高性能Low-Eガラスの特性

- ・Low-Eガラスは特殊金属膜を使用しているため、携帯電話などの電波機器の利用時に障害が出る場合があります。特に窓ガラス以外の外壁に電波を通しにくい断熱材や壁材などを使用されている場合には注意が必要です。
- ・複層ガラス内部のスペーサーに、まれに粒状のものが見られることがあります。これはガラス中空部を乾燥状態にするためにスペーサー内に封入する乾燥剤です。乾燥剤が見えても性能などに問題はありません。
- ・Low-Eガラスは、透過光と反射光で色調が異なります。また、反射光において若干色調ムラとなって見える場合がありますが性能への影響はありません。

ガラスの熱割れについて

ガラスはガラス面内に温度差が生じると、熱割れを起こす場合があります。普段の生活環境の中では、以下に述べるような状態が熱割れを起こしやすいです。

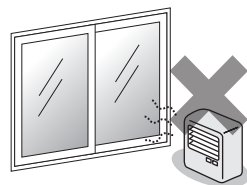
特に網入りガラスは熱割れが発生しやすいため、室内側のガラス温度が部分的に高温（面内温度差発生）にならないように、右記の項目にご注意ください。

お知らせ

- 熱割れは、不可抗力的に発生します。熱割れ発生は夏季より冬季に起こりやすいので、特に注意が必要です。ガラスにひび割れが発生したら、すみやかにガラス交換を業者に依頼してください（交換は有償になります）。

部分的な暖房は行わない

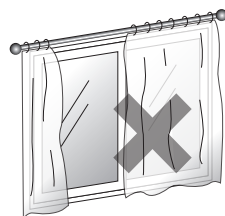
暖房の吹き出しを直接ガラスに当てるなど、部分的な暖房を行わないでください。また、強力なライトを直接ガラスに照射すると、ガラスのその部分の温度が高くなるので避けてください。



ガラスの表面に遮蔽物を密着させない

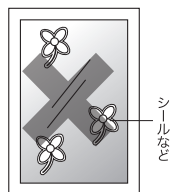
ガラスの表面にカーテンやブラインドなどの遮蔽物を密着させないでください。ガラスの吸収熱が放熱されなくなるので、全面、部分的であっても密着は避けてください。

※窓越しに寝具などを日干ししたい場合は、ガラスに接触させないようにご注意ください。



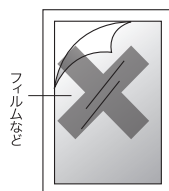
紙を貼ったりペンキを塗ったりしない

ガラス面に紙を貼ったりペンキを塗ったりしないでください。その部分の熱線吸収率が極端に大きくなります。



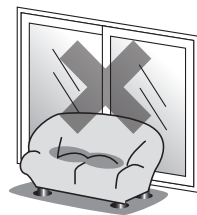
室内側に機能フィルムを貼り付けない

室内側ガラス表面に反射フィルムなどの機能フィルムを貼付けないでください。



家具でガラス面を覆わない

家具やソファなどをガラス面に極端に近づけて覆わないようにしてください。一時的な仮置きでも熱割れが生じることがあります。



長期間にわたり内外障子を重なりあわせない

引違い窓など、使用時に内外の障子が重なりあう窓は、日差しの当たる場所で、長時間にわたり内外の障子が完全に重なりあわないようずらして使用してください。

玄関ドアや素材などについて

玄関ドアなどからの雨水浸入について

玄関のポーチ屋根の大きさ、勝手口のひさしの有無などにより、強い風雨が吹くときにドア本体と枠の間から雨水などが浸入することがあります。

■玄関ドアの水密性能

清掃のために玄関ドアなどに勢いよく水をかけたときや、強風雨時などには、ドア本体と枠の間から雨水などが浸入することがあります。玄関ドアなどは、ポーチ屋根やひさしなどにより通常の雨水などの浸入を防ぐことができますが、玄関ドアなどは、濡れた靴や土足で入ることを想定して土間仕上げとなっており、居室に使用されるサッシのような水密性能はありません。

〈(一社) 日本サッシ協会資料より引用〉

玄関ドアの熱反りについて

断熱玄関ドアは室内外の熱を伝えにくい構造としてあるため、直接、日差しが当たるなど室内外の温度差によっては玄関ドアの本体に反りが発生する場合があります。この反りは、一時的な現象で日差しの角度が変わるなど、内外の温度差が小さくなるとともに解消するもので、不具合ではありません。建築計画の段階で、玄関ドアの設置場所やひさし・軒など日射遮蔽について配慮してください（なお、立地条件などによって反りの量は一定ではありません）。本体の反りが発生してドアが閉まりにくい、すき間が生じた場合は、ストライク（錠受け金具）、ドアガードでの調整をお願いいたします。

玄関ドアの表面温度について

玄関ドア全体（ハンドル含む）が熱くなることがありますが、これは玄関ドア本体に長時間直射日光が当たり、表面温度が上昇することで発生します。特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇します。直射日光が強い時間帯はヤケドをするおそれがありますので、開閉の際はご注意ください。

アルミの特性について

アルミ型材の色調の違いについて

ひとつの商品において、アルミ型材の色調に違いが感じられることがあります。

■アルミ型材の見え方

アルミ型材は見る角度により、たて材と横材の組み合わせで、同じ色調でありながら微妙に色の差が出ることがあります。これは表面処理の特性であり、色調不良や色むらではありません。表面処理による皮膜および塗膜により光の屈折具合に差が生じ、微妙な色調の違いになるためです。また、電灯か自然光か、自然光でも晴れのときか曇りのときかなど、光の当り具合により色の差が出ることがあります。

■表面処理とは

アルミ型材は、元来美しい地肌と優れた耐食性をもっていますが、さらにその性能を向上させ意匠性を付加するために、各種の表面処理が施されており、陽極酸化塗装複合皮膜、着色塗膜（塗装）、陽極酸化皮膜などの種類があります。近年、アルミ型材の表面処理方法は多様化してきていますが、玄関ドアなどに使用するアルミ型材では二次電解着色（陽極酸化塗装複合皮膜）による表面処理が主流となっています。

■二次電解着色（陽極酸化塗装複合皮膜）について

アルミニウムは素地のままでは腐食しやすいので、腐食を防ぐために硫酸などの液の中に浸し一次電解処理（アルマイト処理）することにより陽極酸化皮膜を生成します。

その後、錫（すず）やニッケルを含んだ液に浸し、電流を通じて二次電解処理します。陽極酸化皮膜にはたくさんの孔が開いており、この孔に錫（すず）やニッケルが入り込んでいきます。この孔に入った錫（すず）やニッケルによりアルミ型材の表面が着色されますが、一定の色調にするために液の濃度、処理時間などの管理を行っています。この二次電解処理による着色は、建材で使用されるアルミ型材の着色方法として多く使用されています。

さらにキズが付きにくくするために、表面に透明な塗料で電着塗装をします。日本産業規格（JIS H 8602）では、陽極酸化皮膜の平均厚さを $5\mu\text{m}$ 以上と規定しています。

*単位の説明： μm （マイクロメートル） $=1/1000\text{mm}$

ドア表面の特性

白亜化現象（チョーキング）について

玄関ドアのドア本体表面などが次第に粉状になり、白っぽいチョークの粉をふいたような状態になることがあります。これを白亜化現象（チョーキング）といいます。

■白亜化現象（チョーキング）について

玄関ドアなどのドア本体・障子表面材はカラー鋼板（樹脂塗料を焼付けて仕上げた鋼板）を使用しているものがあり、このカラー鋼板が白亜化することがあります。カラー鋼板の塗膜表面の樹脂成分が、紫外線、熱、雨水、空気中の化学物質などの影響によって劣化し、白っぽいチョークの粉をふいたような状態になります。この現象は、玄関ドアなどに限らず表面を塗装している商品であれば発生する場合があります。

■お手入れ方法のポイント

白亜化現象（チョーキング）は周りの環境やお手入れの仕方によって進行度合いが大きく変わってくるため、まめに商品の表面に付着した汚れをお手入れいただくことが経年変化の進行を遅らせる上で大切です。

ステンレスの特性

ステンレスのさびについて

■ステンレスの特性

ステンレスは決して「さびない」ものではなく、「さびにくい」金属です。ステンレスは強度に優れ、腐食（さび）や摩耗に対して強い特長があることが知られています。このため、サッシやドアの部品の中で耐久性や強度が要求されるドアの錠前、丁番、沓ずりなどに使用されています。ステンレスが腐食（さび）に対して強いのは、表面に独自の保護皮膜が形成されているからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。しかし、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられ、さびが発生することがあります。

■さびが発生しやすい場合

次のような場合、さびが発生しやすくなります。

- ・塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス表面に付着したままの場合
- ・海岸沿いなどの住環境において、塩分がステンレス表面に付着したままの場合

■もらいさびについて

ステンレスがさびる要因として、「もらいさび」といわれるものがあります。「もらいさび」とは、鉄くぎのさびがステンレス表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土ほこりの中の微細な鉄粉がさびてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身がさびたように見える現象です。これが進行するとステンレス自身がさびてしまうこともあります。

■ステンレスのさびを落とす方法

さびは台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この際、ステンレス表面にこすりキズがつくことは避けられませんが、なかなかさびが落ちない場合は、さびが進行してステンレス自身にさびが発生したものと考えられます。

■お手入れのポイント

もらいさびは落とすことができますが、ステンレス自身に発生したさびは落とすことが難しいため、ステンレス表面の汚れに日頃から注意をし薄めた中世洗剤（1%程度）でまめにお手入れをしていただくことにより、さびの予防になります。

ドアクローザについて

ドアクローザの機能について

ドアクローザとは、玄関ドア本体を閉じる速度を調整する働きをします。一般的に内側上部に付き、ドア本体側に付いている箱のような本体部とドア本体とドア枠をつなぐアーム部で構成された部品です。

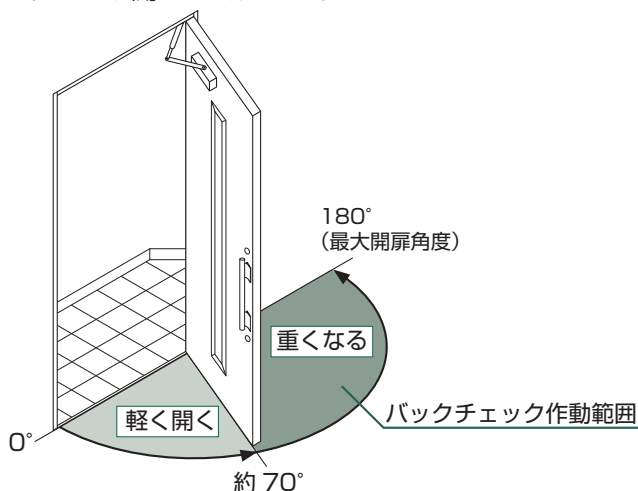
この部品は、開けたドアをゆっくり、静かに閉めるための装置で、内部に密封された油の圧力により閉じる構造になっています。また、通過中の人や物がドア本体にはさまれないよう、閉まってきたドア本体を人の力で開けられるようになっています。

また、ドア本体を一定の角度で開いた状態で一時的に止める機構が付いたドアクローザもありますが、止まった状態でロックする機構にはなっていませんので、風などにより保持力の限界を超える力がかかるとドア本体は閉まります。

したがって、ドア本体を開閉する際に強風が吹いていたり、窓などの開閉によって屋内をとる突風が発生するなど、ドア本体に強い力が加わった場合は、ドア本体が急に開いたり閉まったりすることがありますので、強風時などにドア本体を開閉する時は、ハンドルをしっかりと持ち、ドア本体と枠の間に手などがはさまれないよう注意して開閉してください。

■バックチェック機能

約70°から油圧が働いて、急激にドア本体が開くことを押さえる「バックチェック機能」が付いたものがあります。バックチェック機能が付いている場合、約70°以上ドア本体を開けるときは多少重くなりますが、故障ではありませんのでゆっくり開けてください。



ドアクローザについて

■ディレードアクション機能

約70°までゆっくり閉まり、高齢者、お身体の不自由な方、荷物を搬入する際の出入りに配慮した「ディレードアクション機能」が付いたものがあります。ディレードアクション機能が働いている区間で閉じかけているドア本体を閉じる方向に強く押したり引いたりしないでください。

なお、ドア本体を繰り返し開閉することでドアクローザを取り付けているねじがゆるみ、ドア本体が円滑に開閉しなくなることがありますので、ドアクローザを取り付けているねじがゆるんだときには、ねじを締め直してください。

また、季節の温度変化により内部に密封された油の粘性が変化し、温度が高くなる夏場にはドア本体の閉じる速度が速くなることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますのでご注意ください。

ドアの閉じる速度について

ドア本体の閉じる速度は、速度調整弁により調整することができますので、ドアクローザ取扱説明書を参考に調整してください。また、ディレードアクション機能の有無にかかわらず、閉じかけているドア本体を閉じる方向に強く押したり引いたりしないでください。強制的にドア本体を閉めることにより、内部の油が漏れたり、ドア本体を閉める速度の調整ができなくなる原因となります。

ドアクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合、放置しておくと閉扉速度の調整が効かなくなり事故につながるおそれがありますので、速やかに施工店または建築会社様に修理、交換依頼をしてください。

腐食について

排気ガス接触腐食（給湯器からの排気ガスによる腐食）

表面異常の多くは、ガス給湯器からの排気ガスが原因となっています。排気中に、微量ながら硫黄分が含まれている場合があり、これが空気中や排気中の水分と化学反応をおこして、亜硫酸、硫酸のような腐食性の酸を作ります。これらの酸が、塗膜表面に付着→滞留し、塗膜自体を劣化させたり、塗膜の微細孔などから塗膜一皮下膜界面に侵入し、化学反応をおこすことによって、塗膜の密着を阻害します。

また、排気口の近辺で長時間にわたって繰り返される高温高湿と常温常湿のサイクルは、原因となる酸を濃縮させたり、化学反応を促進させるため、異常の発生を早めます。給湯器および車の排気ガスが直接アルミに当たらないようにご注意ください。

また、直接ではなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも表面異常が発生する場合があります。給湯器排気口近辺にアルミを使用する場合は、排気ガスが直接当たらないようにしていただき、まめにお手入れしていただくとともに周辺の通気を確認した上で使用してください。

■腐食を予防するポイント

- ・ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミに当たらないようにする。
- ・排気口付近にアルミ商品を設置する場合は、まめにお手入れし、周辺の通気を確認したうえで使用する。

落雷による影響

落雷による電装商品への影響について

遠くで雷が鳴っているときに、家電製品はなんともないのに玄関ドアの電気錠が壊れるという場合があります。これは、建造物の壁面や外部に設置される玄関ドアなどに使用されている電装部品は落雷による被害を受けやすい状況にあるためです。ここでは落雷の種類とその影響について説明します。

■落雷の種類とその影響

落雷には、建物や送電線などに直接雷が落ちる「直撃雷」、大気中で発生している放電現象や直撃雷の影響で発生する「誘導雷」、避雷針や鉄塔などに落ちた雷の一部が、配電線や地面を伝わって逆流する「逆流雷」があります。直接雷が落ちなくても数キロ先に落ちた雷が誘導雷サージ（※）や逆流雷サージとなって伝わり被害を与えます。

一般家電製品の落雷被害の多くは、電源線に誘導される誘導雷サージによるものです。一方、玄関ドアは土間に接地しているため、電気錠が逆流雷サージの影響も受けやすい状況になっています。

※雷サージとは、雷により発生する異常な電圧（電流）のことをいいます。

■雷サージの侵入経路

雷サージの侵入経路は地面、壁面、電源線、通信線、TVアンテナなどを通じて侵入し、TVなどの一般家電製品、電気錠などの電装部品に被害が発生します。各事業者では侵入経路に対策を施していますが、雷サージは突発的に発生し、非常に高い電圧（電流）のため、侵入を完全に防ぐことは困難です。

■落雷による被害の発生を低減するための対策方法

落雷による被害の発生を低減するため、以下の対策方法があります。

- ・専用のブレーカー（配線用遮断器）を設置する。雷発生時にはブレーカーを落としてください。
- ・分電盤にアレスター（避雷器）を設置する。



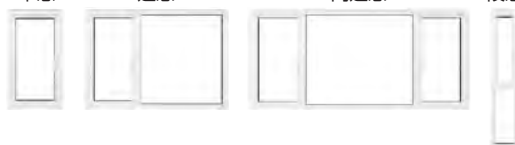
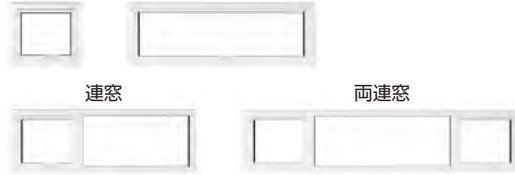

※電装部品は雷の影響で壊れやすくなっている場合があります。

雷被害により不具合が発生した電装部品は交換をお願いいたします。

窓を調べる

お使いの窓を調べる

調べる

窓の種類	取付けられる網戸
引違い窓 ▶P.27 ガラス戸をスライドして開閉する窓 2枚建 両袖 4枚建 	・引違い網戸 (▶P.45)
片引き窓 ▶P.27 ガラス戸をスライドして開閉する窓 偏芯 均等 	・引違い網戸 (▶P.45)
縦すべり出し窓／縦すべり出し採風窓 ▶P.29 縦軸に沿って室外側にすべり出し開閉する窓 単窓 連窓 両連窓 段窓 	・横引きロール網戸S (▶P.49) ・縦ロール網戸 (▶P.52) (ループレス仕様)
横すべり出し窓 ▶P.31 横軸に沿って室外側にすべり出し開閉する窓 単窓 横長単窓 連窓 両連窓 	・横引きロール網戸S (▶P.49) ・アップロール網戸 (▶P.51) ・縦ロール網戸 (▶P.52) (ループレス仕様)
大開口横すべり出し窓 ▶P.33 横軸に沿って室外側にすべり出し開閉する窓 単窓 	・横引きロール網戸D (▶P.49) ・縦ロール網戸 (▶P.52) (ループレス仕様)

調べる

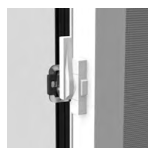
窓の種類	取付けられる網戸
高所用換気窓 ▶P.35 <div>吹き抜け部や階段部など、高所に設置する換気用窓</div> <div> </div>	・高所用換気窓用網戸
FIX窓 ※操作や調整機能はありません。 <div>開閉機能のない固定窓</div> <div> </div>	・対応する網戸はありません
外開き窓 ▶P.37 <div>縦軸に沿って室外側に開閉する窓</div> <div> </div>	・横引きロール網戸S (▶P.49) ・縦ロール網戸 (▶P.52) (ループレス仕様)
バルコニー窓 ▶P.39 <div>主にバルコニーなどに設置する、室内外を繋ぐ窓</div> <div> </div>	・横引きロール網戸S (▶P.49) ・横引き網戸 (▶P.50) (バリアフリー横引き網戸) ・縦ロール網戸 (▶P.52) (ループレス仕様)
勝手口ドア ▶P.41 <div>主にキッチン横などに設置する、室内外を繋ぐドア</div> <div> </div>	・横引きロール網戸S (▶P.49) ・横引き網戸 (▶P.50) (バリアフリー横引き網戸) ・縦ロール網戸 (▶P.52) (ループレス仕様)

引違い窓・片引き窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5)をご確認ください。

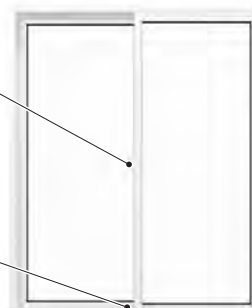
名称



クレセント

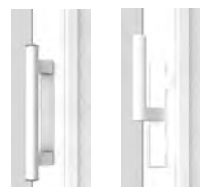


補助錠



引手

【オプション】



大型
ハンドル

アシスト
ハンドル

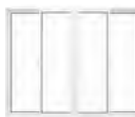
バリエーション



2枚建



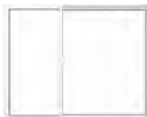
両袖



4枚建



均等



偏芯



引違い網戸

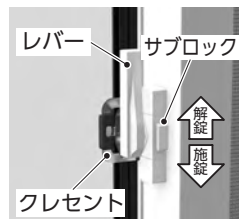
引違い窓

片引き窓

操作方法

窓の開け方

- 1 補助錠の飛び出し部分を押し込んで解錠
- 2 サブロックを上スライドして解錠
- 3 レバーを下にまわしてクレセントを解錠
- 4 引手に指をかけ、窓を開ける



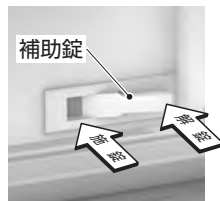
窓の閉め方

- 1 引手に指をかけ、窓を最後まで閉める
- 2 レバーを上にもわしてクレセントを施錠
- 3 サブロックを下にスライドして施錠
- 4 補助錠のミゾのある部分を押し込んで施錠

補助錠の使い方

〔解錠〕 補助錠の飛び出している部分を押し込みます。

〔施錠〕 補助錠のミゾのある部分を押し込みます。



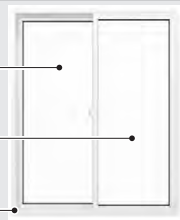
お知らせ

- 補助錠だけでの施錠はおやめください。

「障子」とは

- サッシ枠の中に組み込んだ開閉する部分を障子といいます。本書では、ガラスと一体化した枠レールの上を可動する建具のことをいいます。

- ・外障子
室外側レールにある障子
- ・内障子
室内側レールにある障子
- ・サッシ枠



<p>警告</p>	<p>●窓を開閉するときは、障子のすき間、サッシ枠と障子の間に手や指を絶対に置かないでください。手や指をはさんでけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。</p>
<p>指示</p>	<p>●障子を開閉するときは、必ず引手を持って操作してください。</p> <p>●障子をしっかりと閉めずに操作すると、施錠されないことがあります。障子を確実に閉め、クレセントのサブロックをかけ、施錠されたことを確認してください。</p> <p>●クレセントのサブロックは必ず施錠して使用してください。</p>

引違い窓
／片引き窓

縦すべり出し窓
／縦すべり出し採風窓

横すべり出し窓

大開口横すべり出し窓

高所用換気窓

外開き窓

バルコニー窓

勝手口ドア

縦すべり出し窓／縦すべり出し採風窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



【オプション】

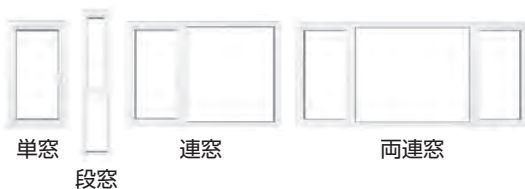


開放制限
ストッパー



補助ロック

バリエーション



取付けできる網戸



横引きロール網戸S

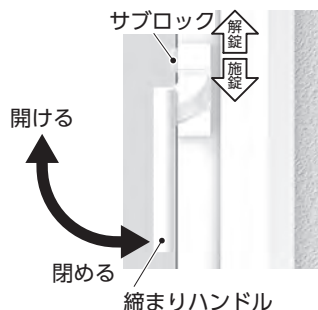


縦ロール網戸
(ループレス仕様)

操作方法

窓の開け方

- 1 サブロックを上へ上げて解錠
- 2 締めりハンドルを90度まわして解錠
(横向きの状態)
- 3 窓を外に向かって押し出すように開ける

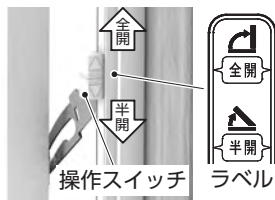


窓の閉め方

- 1 締めりハンドルを持って窓を手前に引寄せる
- 2 締めりハンドルを90度まわして施錠（下向きの状態）
- 3 ロックした状態でサブロックを下に下げて施錠

開放制限ストッパーの使い方（オプション）

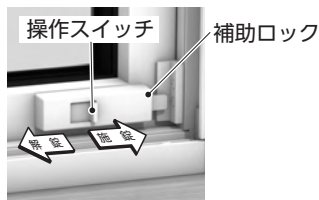
操作スイッチを上下させ、「半開」、「全開」に切替えることができます。安全のため、通常は「半開」状態でご使用ください。



補助ロックの使い方（オプション）

〔解錠〕 操作スイッチをスライドします。

〔施錠〕 操作スイッチを壁側にスライドします。



お知らせ

- 補助ロックだけでの施錠はおやめください。

警告	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。
注意	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、必ず締めりハンドルを持って操作してください。 ●操作中は締めりハンドルから手を離したり、サッシ枠と障子のすき間、開閉金物やその付近に手を置かないでください。突風などによる急激な開閉で手や指をはさまれたり、思わぬけがや破損につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。 ●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
指示	<ul style="list-style-type: none"> ●障子をしっかり閉め、サブロックを必ずかけ、施錠されたことを確認してください。 ●ハンドル操作はサブロックを解除した状態で行ってください。ロックした状態で操作すると破損するおそれがあります。 ●開放制限ストッパーを使用して、窓を半開状態で外出しないでください。ストッパーを壊され、侵入されるおそれがあります。

引違い窓
／片引き窓

縦すべり出し窓
／縦すべり出し採風窓

横すべり出し窓

大開口横すべり出し窓

高所用換気窓

外開き窓

バルコニー窓

勝手口ドア

横すべり出し窓

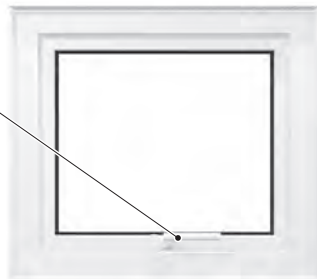
ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



締めりハンドル



【オプション】



開放制限
ストッパー



補助ロック

バリエーション



単窓



横長単窓



連窓



両連窓

取付けできる網戸



横引きロール網戸S



アップロール網戸S

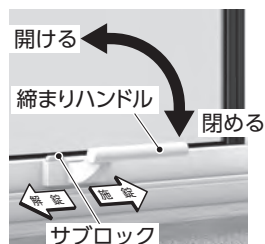


縦ロール網戸（ループレス仕様）

操作方法

窓の開け方

- 1 サブロックを左にスライドして解錠
- 2 締めりハンドルを90度まわして解錠
（上向きの状態）
- 3 窓を外に向かって押し出すように開く



はじめに

知っていただきたい現象

窓を調べる

網戸を調べる

窓のお手入れ

網戸のお手入れ

玄関ドアの使い方 お手入れ

修理・メンテナンス

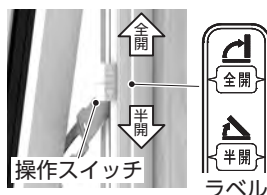
窓の閉め方

- 1 締めりハンドルを持って窓を手前に引寄せる
- 2 ハンドルを右に90度まわして施錠（横向きの状態）
- 3 ロックした状態でサブロックを右にスライドして施錠

開放制限ストッパーの使い方（オプション）

操作スイッチを上下させ、「半開」、「全開」に切替えることができます。安全のため、通常は「半開」状態でご使用ください。

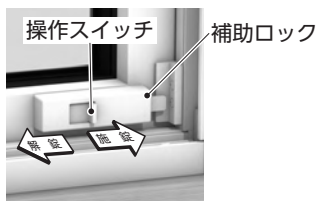
※横長単窓には付けられません。



補助ロックの使い方（オプション）

〔解錠〕 操作スイッチをハンドル側にスライドします。

〔施錠〕 操作スイッチをスライドします。



お知らせ

- 補助ロックだけでの施錠はおやめください。

⚠ 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、必ず締めりハンドルを持って操作してください。 ●操作中は締めりハンドルから手を離したり、サッシ枠と障子のすき間、開閉金物やその付近に手を置かないでください。突風などによる急激な開閉で手や指をはさまれたり、思わぬけがや破損につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。 ●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
❗ 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●障子をしっかり閉め、サブロックを必ずかけ、施錠されたことを確認してください。 ●ハンドル操作はサブロックを解除した状態で行ってください。ロックした状態で操作すると破損するおそれがあります。 ●開放制限ストッパーを使用して、窓を半開状態で外出しないでください。ストッパーを壊され、侵入されるおそれがあります。

引違い窓
／片引き窓

縦すべり出し窓
／縦すべり出し採風窓

横すべり出し窓

大開口横すべり出し窓

高所用換気窓

外開き窓

バルコニー窓

勝手口ドア

大開口横すべり出し窓

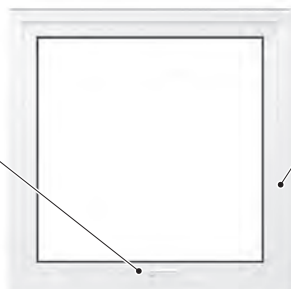
ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



締めりハンドル



脱着式開放
制限ストッパー

【オプション】



補助ロック

取付けできる網戸



横引きロール網戸D

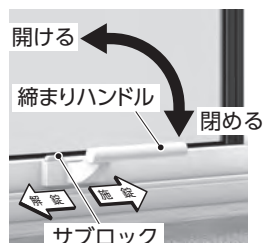


縦ロール網戸
(ループレス仕様)

操作方法

窓の開け方

- 1 サブロックを左にスライドして解錠
- 2 締めりハンドルを90度まわして解錠
(上向きの状態)
- 3 窓を外に向かって押し出すように開く



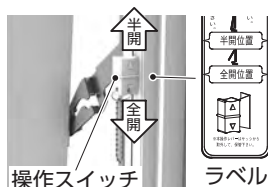
窓の閉め方

- 1 締めりハンドルを持って窓を手前に引寄せる
- 2 ハンドルを右に90度まわして施錠（横向きの状態）
- 3 ロックした状態でサブロックを右にスライドして施錠

脱着式開放制限ストッパーの使い方

操作スイッチを上下させ、「半開」、「全開」に切替えることができます。安全のため、通常は「半開」状態でご使用ください。

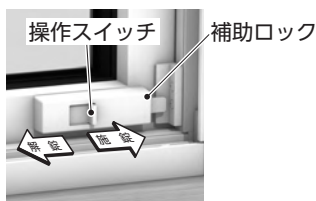
また、使用をしない時は操作スイッチをはずしてください。



補助ロックの使い方（オプション）

〔解錠〕 操作スイッチをハンドル側にスライドします。

〔施錠〕 操作スイッチをスライドします。



お知らせ

- 補助ロックだけでの施錠はおやめください。

警告	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。
注意	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、必ず締めりハンドルを持って操作してください。 ●操作中は締めりハンドルから手を離したり、サッシ枠と障子のすき間、開閉金物やその付近に手を置かないでください。突風などによる急激な開閉で手や指をはさまれたり、思わぬけがや破損につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。 ●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
指示	<ul style="list-style-type: none"> ●障子をしっかり閉め、サブロックを必ずかけ、施錠されたことを確認してください。 ●ハンドル操作はサブロックを解除した状態で行ってください。ロックした状態で操作すると破損するおそれがあります。 ●開放制限ストッパーを使用して、窓を半閉状態で外出しないでください。ストッパーを壊され、侵入されるおそれがあります。

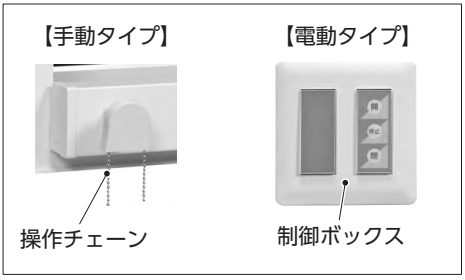
引違い窓 ／片引き窓	縦すべり出し窓 ／縦すべり出し採風窓	横すべり出し窓	大開口横すべり出し窓	高所用換気窓	外開き窓	バルコニー窓	勝手口ドア
---------------	-----------------------	---------	------------	--------	------	--------	-------

高所用換気窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



バリエーション



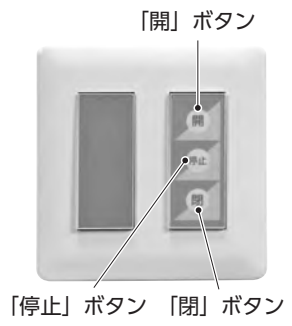
取付けできる網戸



操作方法（電動タイプの場合）

窓の開け方

- 1 制御ボックスの「開」ボタンを押す
- 2 止めたい位置で「停止」ボタンを押す
「停止」を押さなくても、開き切ったところで止まります。



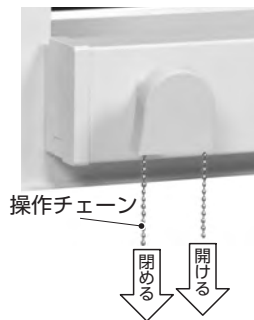
窓の閉め方

- 1 制御ボックスの「閉」ボタンを押す
- 2 止めたい位置で「停止」ボタンを押す
「停止」を押さなくても、閉じ切ったところで止まります。

操作方法（手動タイプの場合）

窓の開け方

- 1 右側の操作チェーンを下方向に引く
- 2 止めたい位置でチェーンを離す



窓の閉め方

- 1 左側の操作チェーンを下方向に引く
- 2 止めたい位置でチェーンを離す

お知らせ

- 窓を閉める場合は操作チェーンが引けなくなるまで引いて、完全に閉じてください。

⚠警告	<ul style="list-style-type: none"> ●操作チェーンが巻き付いたり、引っかからないように注意してください。事故につながるおそれがありますので、特に小さなお子様には注意してください。 ●電装機器の分解・改造はしないでください。火災や感電など事故のおそれがあります。 ●オペレータカバーキャップ、カバー本体、網戸などの取はずし・取付けの際は、落下しないよう十分注意してください。また脚立などを使用する場合は、転落しないよう注意してください。人身事故や物損事故につながる可能性があります。
⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> ●電装部品に水がかからないようご注意ください。電装部品の故障の原因になります。 ●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
🚫禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●高温・高湿条件の場所では使用しないでください。 ●積雪時や窓の凍結時、強風時は使用しないでください。 ●窓に異物が挟まった状態で使用しないでください。

引違い窓
／片引き窓

縦すべり出し窓
／縦すべり出し採風窓

横すべり出し窓

大開口横すべり出し窓

高所用換気窓

外開き窓

バルコニー窓

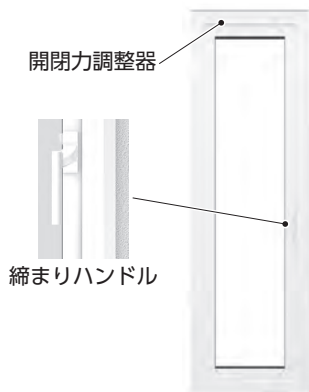
勝手口ドア

外開き窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



【オプション】



開放制限
ストッパー



補助ロック

バリエーション



単窓



連窓



両連窓

取付けできる網戸



横引きロール網戸S

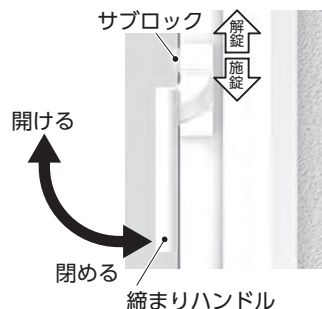


縦ロール網戸
(ループレス仕様)

操作方法

窓の開け方

- 1 サブロックを上へ上げて解錠
- 2 締めりハンドルを90度まわして解錠
(横向きの状態)
- 3 窓を外に向かって押し出すように開く

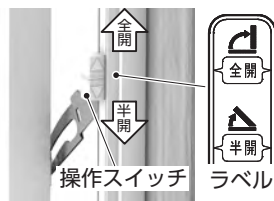


窓の閉め方

- 1 締めりハンドルを持って窓を手前に引寄せる
- 2 ハンドルを90度まわして施錠（下向きの状態）
- 3 施錠した状態でサブロックを下に下げて施錠

開放制限ストッパーの使い方（オプション）

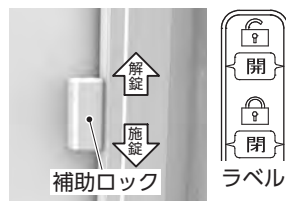
操作スイッチを上下させ、「半開」、「全開」に切替えることができます。安全のため、通常は「半開」状態でご使用ください。



補助ロックの使い方（オプション）




〔解錠〕 操作スイッチをスライドします。

〔施錠〕 操作スイッチをハンドル側にスライドします。



お知らせ

- 補助ロックだけでの施錠はおやめください。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開閉するときは、必ず締めりハンドルを持って操作してください。 ●操作中は締めりハンドルから手を離したり、サッシ枠と障子のすき間、開閉金物やその付近に手を置かないでください。突風などによる急激な開閉で手や指をはさまれたり、思わぬけがや破損につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。 ●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●障子をしっかり閉め、サブロックを必ずかけ、施錠されたことを確認してください。 ●ハンドル操作はサブロックを解除した状態で行ってください。ロックした状態で操作すると破損するおそれがあります。 ●開放制限ストッパーを使用して、窓を半開状態で外出しないでください。ストッパーを壊され、侵入されるおそれがあります。

引違い窓
／片引き窓縦すべり出し窓
／縦すべり出し採風窓

横すべり出し窓

大開口横すべり出し窓

高所用換気窓

外開き窓

バルコニー窓

勝手口ドア

バルコニー窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称

外観



締めりハンドル

丁番

【オプション】
シリンダー／
ディンプルキー

内観

開閉力調整器



サムターン



締めりハンドル

【オプション】



補助ロック



開放制限
ストッパー



沓摺（くつずり）
カバー

バリエーション



単窓

連窓

両連窓

取付けできる網戸



横引きロール網戸S



横引き網戸
（バリアフリー横引き網戸）



縦ロール網戸
（ループレス仕様）

操作方法（左吊元の場合）

窓の開け方

- 1 サムターンを左にまわして解錠
- 2 締めりハンドルを90度まわして解錠
（横向きの状態）
- 3 窓を外に向かって押し出すように開く

開ける

閉める



締めりハンドル

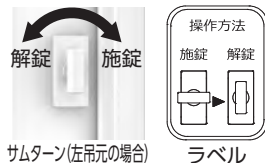
窓の閉め方

- 1 締めりハンドルを持って窓を手前に引寄せる
- 2 ハンドルを90度まわして施錠（下向きの状態）
- 3 サムターンを右にまわして施錠

サムターンの使い方

〔解錠〕 サムターンを左にまわします。

〔施錠〕 サムターンを右にまわします。



サムターン(左吊元の場合)

ラベル

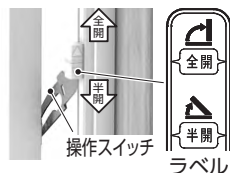
※左吊元での操作になります。詳しくはサムターンの上のラベルをご確認ください。

吊元とは

- 開き戸を室外側から見て、丁番が取付けてある側のことを表します。

開放制限ストッパーの使い方(オプション)

操作スイッチを上下させ、「半開」、「全開」に切替えることができます。安全のため、通常は「半開」状態でご使用ください。



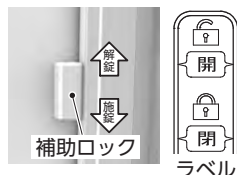
操作スイッチ

ラベル

補助ロックの使い方（オプション）

〔解錠〕 操作スイッチをスライドします。

〔施錠〕 操作スイッチをハンドル側にスライドします。



補助ロック

ラベル

お知らせ

- 鍵を紛失した場合は、防犯のため鍵の交換をお勧めします。
- 締めりハンドルで施錠していない状態では、サムターンを施錠できません。
- 補助ロックだけでの施錠はおやめください。

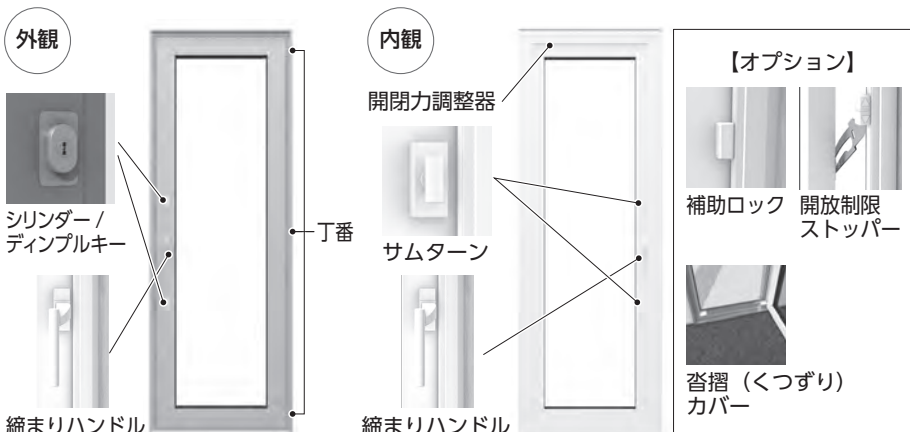
警告	<p>●窓を開閉するときは、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。</p>
注意	<p>●窓を開閉するときは、必ず締めりハンドルを持って操作してください。</p> <p>●操作中は締めりハンドルから手を離したり、サッシ枠と障子のすき間、開閉金物やその付近に手を置かないでください。突風などによる急激な開閉で手や指をはさまれたり、思わぬけがや破損につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。</p> <p>●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。</p>
指示	<p>●開放制限ストッパーを使用して、窓を半開状態で外出しないでください。ストッパーを壊され、侵入されるおそれがあります。</p>

勝手口ドア

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



取付けできる網戸



横引きロール網戸S



横引き網戸
（パリアフリー横引き網戸）

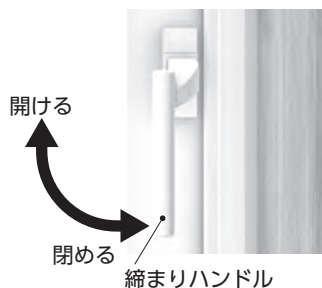


縦ロール網戸
（ループレス仕様）

操作方法（左吊元の場合）

窓の開け方

- 1 サムターンを左にまわして解錠
- 2 締めまりハンドルを90度まわして解錠（横向きの状態）
- 3 窓を外に向かって押し出すように開く



窓の閉め方

- 1 締めりハンドルを持って窓を手前に引寄せる
- 2 ハンドルを90度まわして施錠（下向きの状態）
- 3 サムターンを右にまわして施錠

サムターンの使い方

〔解錠〕 サムターンを左にまわします。

〔施錠〕 サムターンを右にまわします。



サムターン(左吊元の場合) ラベル

※左吊元での操作になります。詳しくはサムターンの上のラベルをご確認ください。

吊元とは

- 開き戸を室内側から見て、丁番が取付けてある側のことを表します。

開放制限ストッパーの使い方（オプション）

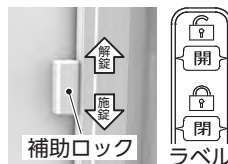
操作スイッチを上下させ、「半開」、「全開」に切替えることができます。安全のため、通常は「半開」状態でご使用ください。



補助ロックの使い方（オプション）

〔解錠〕 操作スイッチをスライドします。

〔施錠〕 操作スイッチをハンドル側にスライドします。



お知らせ




- 鍵を紛失した場合は、防犯のため鍵の交換をお勧めします。
- 締めりハンドルで施錠していない状態では、サムターンを施錠できません。
- 補助ロックだけでの施錠はおやめください。

警告	<p>●窓を開閉するときは、身を乗り出す姿勢になります。転落しないように注意してください。特に小さなお子様だけで窓の開閉をさせないように注意してください。</p>
注意	<p>●窓を開閉するときは、必ず締めりハンドルを持って操作してください。</p> <p>●操作中は締めりハンドルから手を離したり、サッシ枠と障子のすき間、開閉金物やその付近に手を置かないでください。突風などによる急激な開閉で手や指をはさまれたり、思わぬけがや破損につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。</p> <p>●風が強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受けて落下や破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。</p>
指示	<p>●開放制限ストッパーを使用して、窓を半開状態で外出しないでください。ストッパーを壊され、侵入されるおそれがあります。</p>




網戸を調べる

お使いの網戸を調べる

調べる

網戸の種類	取付けられる窓
引違い網戸 ▶P.45 	<ul style="list-style-type: none"> ・引違い窓 (▶P.27) ・片引き窓 (▶P.27)
横引きロール網戸S／アップロール網戸 ▶P.49／P.51 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦すべり出し窓 (▶P.29) ・横すべり出し窓 (▶P.31) ・外開き窓 (▶P.37) ・バルコニー窓 (▶P.39) ・勝手口ドア (▶P.41)
横引きロール網戸D ▶P.49 	<ul style="list-style-type: none"> ・大開口横すべり出し窓 (▶P.33)

調べる

網戸の種類	取付けられる窓
横引き網戸（バリアフリー横引き網戸） ▶P.50 	<ul style="list-style-type: none"> ・バルコニー窓（▶P.39） ・勝手口ドア（▶P.41）
縦ロール網戸（ループレス仕様） ▶P.52 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦すべり出し窓（▶P.29） ・横すべり出し窓（▶P.31） ・大開口横すべり出し窓（▶P.33） ・外開き窓（▶P.37） ・バルコニー窓（▶P.39） ・勝手口ドア（▶P.41）
高所用換気窓用網戸 	<ul style="list-style-type: none"> ・高所用換気窓（▶P.35）

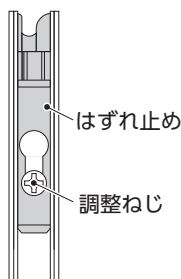
引違い網戸

ご使用の前に

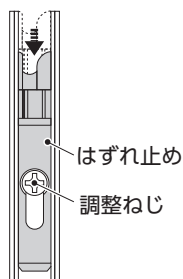
- ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5)をご確認ください。

お知らせ

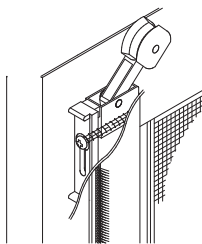
- ご使用の前に網戸上部の両端にあるはずれ止めが正しくセットしているかご確認ください。
- 網戸がはずれた時、はずれ止めが下に下がることで網戸本体の離脱を防止します。



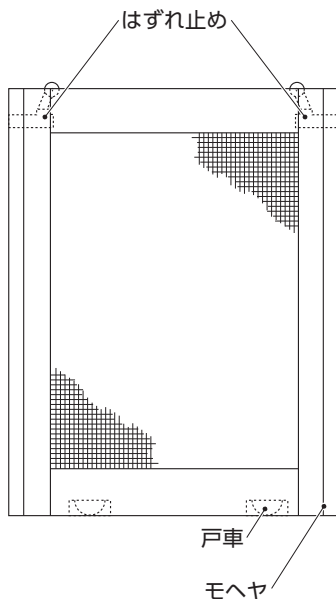
【セットされている状態】



【はずれている状態】



名称



網戸の閉め方

- 1 手掛けに指をかけ、網戸をスライド

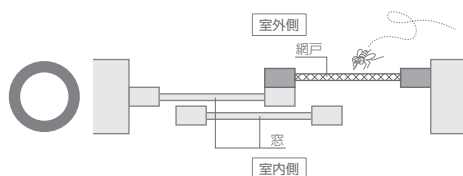
網戸の開け方

- 1 手掛けに指をかけ、網戸をスライド

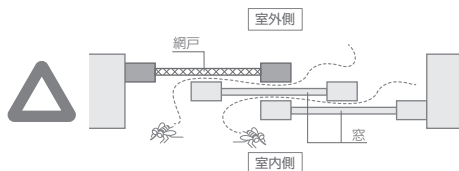
網戸を効果的にする網戸や窓の閉め方



2枚建

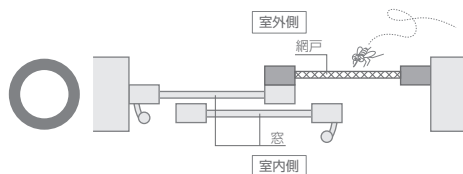


室内側（内障子）を開けると（半開でも全開でも）すき間がないので虫の侵入を防ぎます。

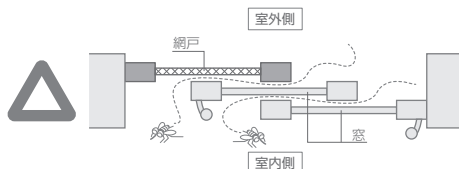


室外側（外障子）を開けると（半開）網戸を閉めていてもまれに虫が侵入する場合があります。

大型ハンドル・アシストハンドル
使用時



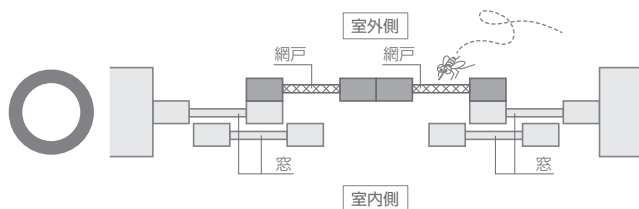
室内側（内障子）を開けると（半開でも全開でも）すき間がないので虫の侵入を防ぎます。



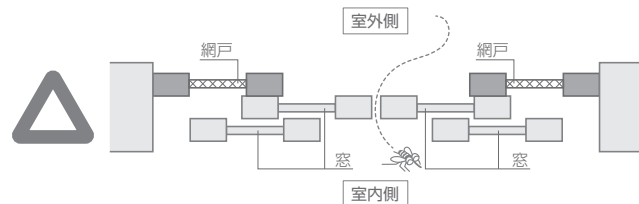
室外側（外障子）を開けると（半開）網戸を閉めていてもまれに虫が侵入する場合があります。



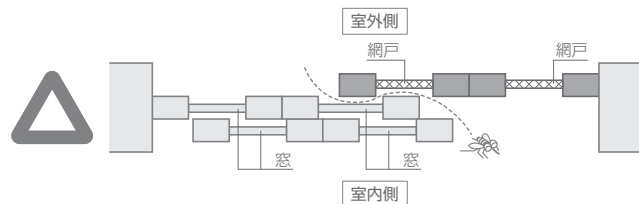
4枚建



室内側（内障子）を開けると（半開でも全開でも）すき間がないので虫の侵入を防ぎます。

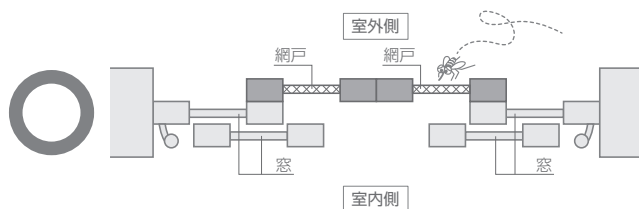


室外側（外障子）を開けると（半開）網戸を閉めていてもまれに虫が侵入する場合があります。

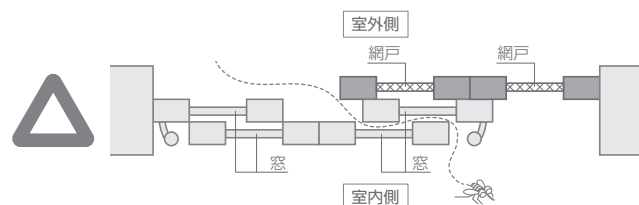
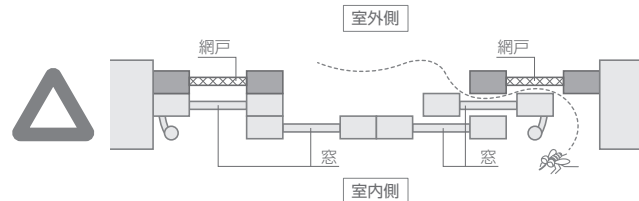


片側に全開すると、網戸を閉めていてもまれに虫が侵入する場合があります。

大型ハンドル・
アシストハンドル
使用時



室内側（内障子）を開けると（半開でも全開でも）
すき間がないので虫の侵入を防ぎます。



室外側（外障子）を開けると（半開）網戸を閉めてい
てもまれに虫が侵入する場合があります。

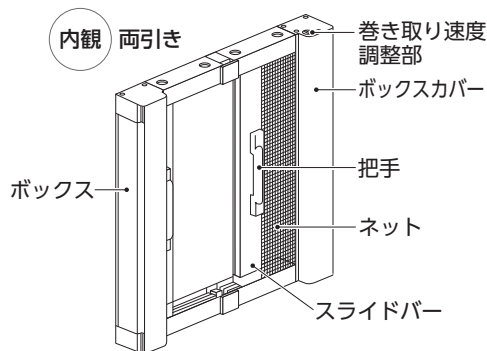
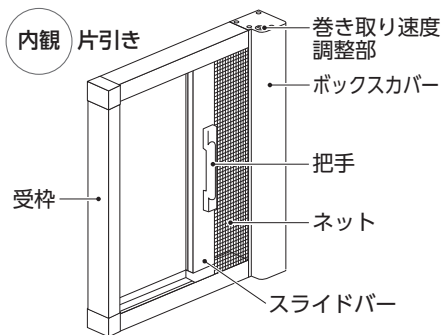
<p>警告</p>	<p>●はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。</p>
<p>注意</p>	<p>●網戸コーナー部に手を触れると、けがをするおそれがありますので注意してください。</p>
<p>指示</p>	<p>●お手入れなどのために網戸をはずした後、再びサッシ枠に取りつけたときは、操作ラベルに従って、必ずはずれ止めをセットしてください。</p> <p>●使用中に調整ねじがゆるみ、はずれ止めがずれることがあるので、定期的に点検してください。</p> <div data-bbox="714 1070 1010 1182"> <p>注意 脱着防止の為左右の外れ止めを調整してください。</p> <p>① ねじを緩める(左に回す○)</p> <p>② 開閉に支障がない範囲で外れ止めを上げる</p> <p>③ ねじを緩める(右に回す○)</p> <p>◎ 調整せずにはこの操作を行ってください</p> </div>

横引きロール網戸S／横引きロール網戸D

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5) をご確認ください。

名称



網戸の閉め方

1 把手を受枠までゆっくり引く

※両引きは中央に向かってゆっくり引いてください。

網戸の開け方

1 把手の矢印部分を押しロックをはずす

※網戸が自動で巻き取りされます。

巻き取り速度の調整は、P.79を確認ください。

⚠️ 注意

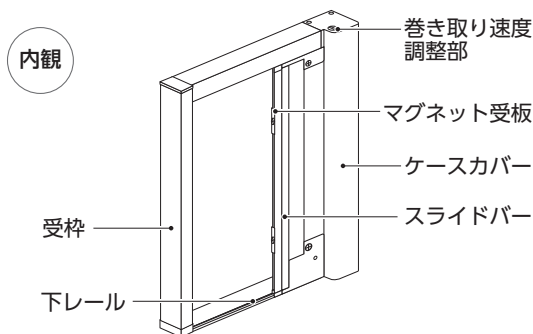
●網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。網が破損したり、網戸が落下したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

横引き網戸 (バリアフリー横引き網戸)

ご使用の前に

- ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5) をご確認ください。

名称



網戸の閉め方

- 1 スライドバーの手掛け部に指をかけて、網戸をスライド

網戸の開け方

- 1 スライドバーの手掛け部に指をかけて、網戸をスライド

⚠️ 注意

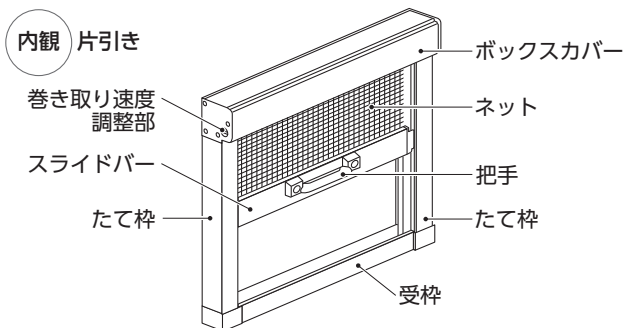
- 網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。網が破損したり、網戸が落下したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アップロール網戸

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5)をご確認ください。

名称



網戸の閉め方

1 把手を受枠までゆっくり降ろす

網戸の開け方

1 把手の矢印部分を押しロックをはずす

※網戸が自動で巻き取りされます。

巻き取り速度の調整は、P.79を確認ください。



注意

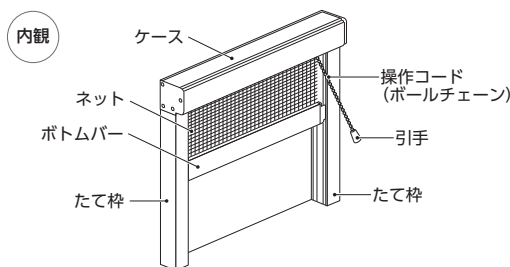
●網戸に寄りかかったり、押ししたりしないでください。網が破損したり、網戸が落下したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

縦ロール網戸（ループレス仕様）

ご使用の前に

- ご使用の前に必ず「安全にご使用いただくために」(P.5)をご確認ください。

名称



網戸の閉め方

- 1 引手を手前に引き、操作コード（ボールチェーン）をストッパーからはずし、手で持ったまま自重でボトムバーをゆっくり降ろす

網戸の開け方

- 1 引手を手前に引き、操作コード（ボールチェーン）をゆっくり引っ張り、ボトムバーを上げる
- 2 操作コード（ボールチェーン）をストッパーに引っ掛ける

お知らせ

- お子様を操作コード（ボールチェーン）で遊ばせないでください。
- ボールチェーンを引手の溝にはめて仮固定し、操作コードを短くすることができます。
- 操作コードを結んだり絡まるような固定はしないでください。開閉に支障が出るおそれがあります。

⚠注意

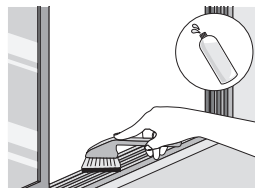
- 網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。網が破損したり、網戸が落下したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 開閉操作中は引手・ボールチェーンから手を離さないでください。またボトムバーを持って網戸を引っ張らないでください。

窓のお手入れ

お手入れについて

お掃除はなるべく頻繁に

- ・長期間、清掃しないままにしておきますと表面に付着した汚れは、シミや腐食の原因になります。汚れが軽い内に清掃してください。
- ・引違い窓はレール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、キズの原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。また海岸や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめに手入れをしてください。台風などで強い潮風が吹いた後は、念のため窓を水洗いしてください。
- ・水洗いでのお掃除の際、高圧洗浄機やホースで強い水圧をかけると、室内に水が入ることがありますのでご注意ください。



お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。
- ②汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。
- ③洗剤使用後は十分に水洗いをし、乾いた布で水分を拭き取ってください。



△注意

- クリーニングには、薄めた中性洗剤以外は使用しないでください。
特に窓の樹脂部分にアルコール類などの有機溶剤およびそれらを含んだ製品が付着しますと、変色やひび割れ（クラック）の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ベンジン、ガソリン、アセトン、シンナー、エタノールなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。
溶剤により樹脂にクラックが発生する恐れがあります。
- お手入れの際は、柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金属ヘラの使用は避けてください。
- 汚れの程度にもよりますが、以下の中から適切な方法をお選びください。
 - ①一般的な汚れ→水洗い
 - ②落ちづらい汚れ→薄めた中性洗剤（1%程度）

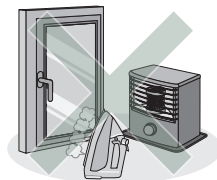


使用上のお願い



警告

- マジックインク・クレヨン、水性ペンなどで書くと、落ちなくなることがありますので、使用しないでください。
- 使用している樹脂は高温に弱いのでストーブ、アイロンなど、火および熱源を近づけたり触れさせたりしないでください。



複層ガラスのお手入れ方法

①ガラス表面はコーティングなどの処理はしていません。

中性洗剤を希釈した水を柔らかい布に浸し、布でゆっくり拭きとります。

②汚れが落ちたら、乾いた布で、水分を十分拭き取ります。



注意

- 研磨剤などの含まれるクリーナーはガラスに傷がつくので使わないでください。

窓（網戸）の本体／ハンドル／引手／クレセントなどの消毒について

- ・アルコール成分を含む消毒液の使用はおやめください。
- ・モノに付着したウイルスには、市販の塩素系漂白剤の主成分である「次亜塩素酸ナトリウム」が有効です。樹脂部の変色、色あせなどを生じる可能性があるため次亜塩素酸ナトリウムは必ず薄めて使用ください。

次亜塩素酸ナトリウムの使用方法

- ①市販の家庭用漂白剤に水を加えて、次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.05%になるように薄めて拭きます。
- ②漂白成分が残らないように、必ずしっかりと水拭きしてください。

注意

- 塩素に過敏な方は使用を控えてください。
- 目に入ったり、皮膚についたりしないよう注意してください。
- 飲み込んだり、吸い込んだりしないよう注意してください。
- 酸性のものと混ぜると塩素ガスが発生して危険です。
- 金属製のものに次亜塩素酸ナトリウムを使用すると、腐食する可能性があるので注意してください。
- 詳しくは新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について（厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ）などをご確認ください。

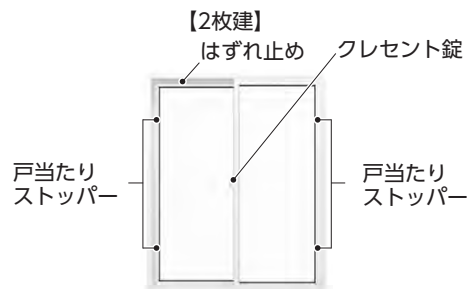
引違い窓・片引き窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

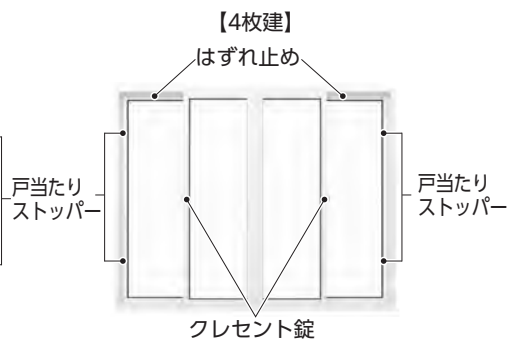
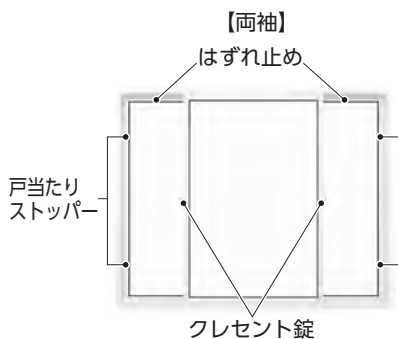
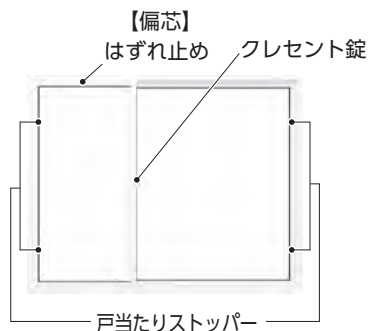
名称

引違い窓



片引き窓

※【均等】の場合も同様です。

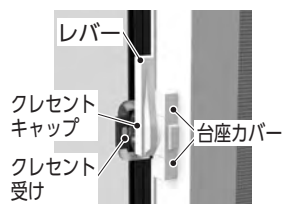


「戸当たりストッパー」とは

●窓を閉めたときに、窓が直接サッシなどに当たらないようにするためのクッションの役割を果たします（P.60）。

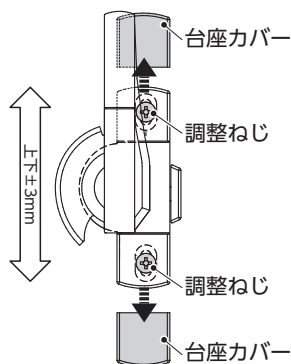
クレセント錠の調整方法

戸車の調整をしてもクレセント錠がかからなかったり、閉めても障子がガタつくような場合にクレセント錠本体を調整します。クレセント錠本体は上下・左右の位置で調整できるので、かかりやすい位置にあわせてください。



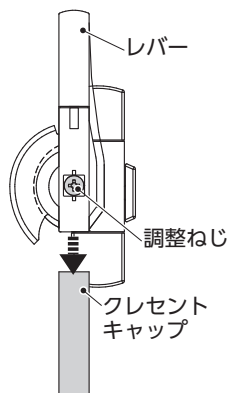
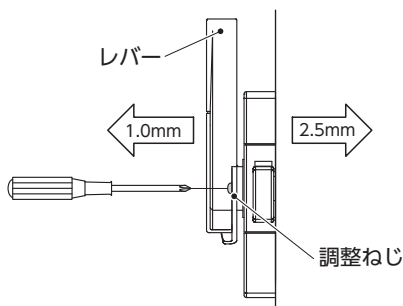
上下方向の調整 (上下 ± 3mm)

- 1 クレセント錠を施錠状態にする (上向きの状態)
- 2 台座カバーをスライドしてはずす (上下2ヶ所)
- 3 プラスドライバーで調整ねじをゆるめる (上下2ヶ所)
- 4 クレセント錠を上下に動かして位置を調整
・錠受け側の位置に合うように調整してください。
- 5 プラスドライバーで調整ねじを締める (上下2ヶ所)
- 6 台座カバーをスライドして取付ける (上下2ヶ所)



左右方向の調整 (1～2.5mm)

- 1 クレセントキャップを取りはずす
- 2 調整ねじをまわして左右の位置を調整
・【時計まわり】：クレセントレバーが右側に動きます。
・【反時計まわり】：クレセントレバーが左側に動きます。
- 3 クレセントキャップを元の位置に取付ける



戸車の調整方法

障子の開閉が重くなったり、クレセント錠がかかりにくくなったときは、障子下部両サイドの戸車の高さ調整をしてください。

上下方向の調整

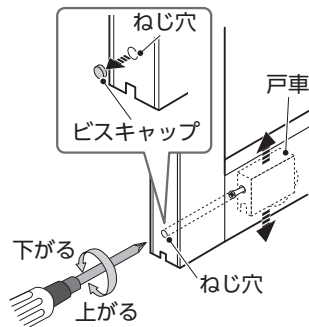
1 ビスキャップをねじ穴から取りはずす

※ビスキャップは召合せ側のみに付いています。

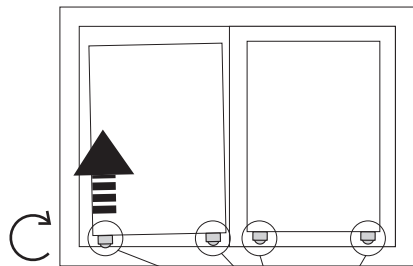
2 ねじ穴にプラスドライバーを差込み、ねじをまわして調整

- ・【時計まわり】：障子が上方向に動きます。
- ・【反時計まわり】：障子が下方向に動きます。

3 ビスキャップをねじ穴に取付ける

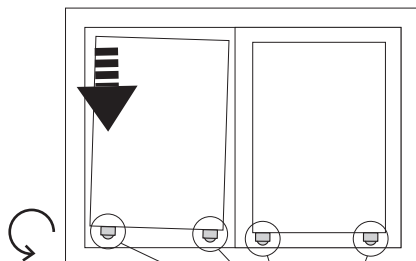


障子を上げたい場合



【時計まわり】
上方向：最大 1mm

障子を下げたい場合



【反時計まわり】
下方向：最大 3mm

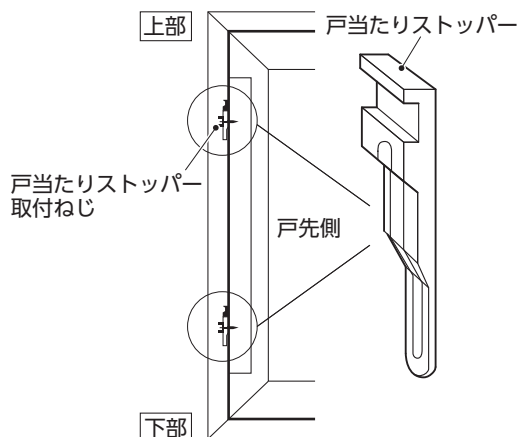
お知らせ

●上下の調節範囲は、上方向に最大1mm、下方向に最大3mmになります。

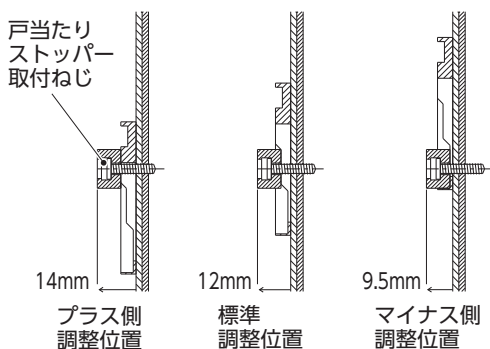
戸当たりストッパーの調整

クレセント錠の調整をしても閉じた障子が左右にガタつく場合は、戸当たりストッパーの調整をしてください。

- 1 戸当たりストッパー取付ねじをゆるめる
- 2 戸当たりストッパーを上下に動かして調整
 - ・障子にガタつきがないか確認しながら調整します。
- 3 戸当たりストッパー取付ねじを締める



調整範囲



はずれ止めのセット・解錠

はずれ止めは、窓がサッシ枠からはずれて落下するのを防止する部品です。



警告

●はずれ止めが正しくセットされていないと、窓がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

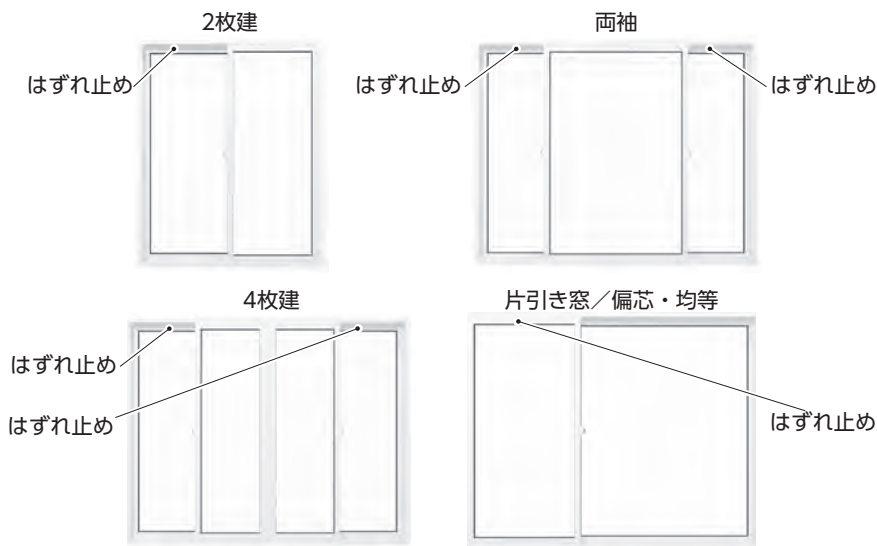


注意

●お手入れなどのために窓をはずした後や、再びサッシ枠に取りつけたときは、表示ラベルに従ってはずれ止めを必ずかけてください。セット方法は、商品に貼り付けられたラベルに記載されています。

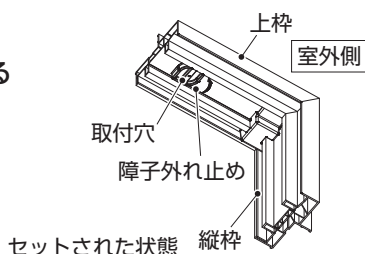
●ガラスの入った窓は重量があります。障子の取り外し、取り付けを行う場合は、障子が小さくても必ず2人以上で行って下さい。

はずれ止めの位置



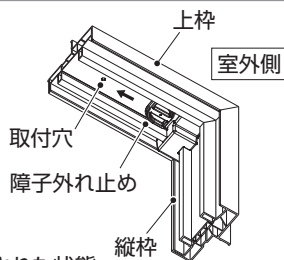
はずれ止めの解除方法

- 1 はずれ止めを反時計まわりに90度まわす
- 2 はずれ止めをサッシの端ヘスライドさせる



はずれ止めのセット方法

- 1 はずれ止めを取付穴位置までスライドさせる
- 2 はずれ止めを穴に差し込み、時計まわりに90度まわす

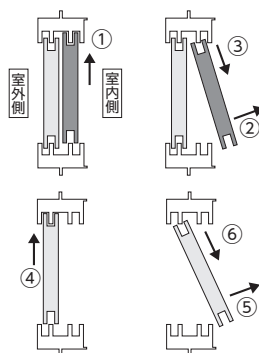


解除された状態

窓のはずし方

窓をはずす前に、はずれ止めを解除しておいてください。

- 1 内側の窓を上を持ち上げる
- 2 窓の下部を手前に引く
- 3 窓全体を下へおろし、内側にはずす
- 4 外側の窓を上を持ち上げる
- 5 窓の下部を手前に引く
- 6 窓全体を下へおろし、内側にはずす



※掃き出し窓の障子を外す場合は、お買い上げの工務店や販売店に相談、もしくは専門業者に依頼して下さい。

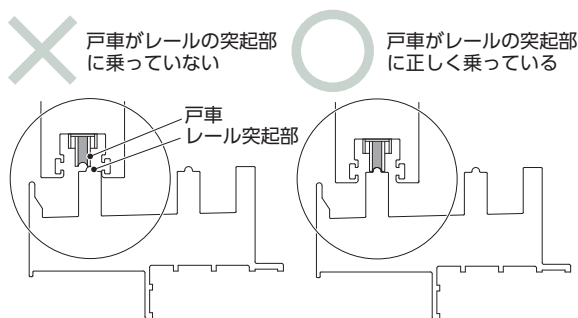
- ・ W1800以下のサッシの場合（障子重量が最大80kg）
 - ・ W1800以上のサッシの場合（障子重量が最大120kg）
- となる可能性があります。

窓のはめ方

窓をはめる場合は、「窓のはずし方」と逆手順で行ってください。窓の脱着は室内側からの作業となります。窓をはめた後は必ずはずれ止めをセットしてください。

※必ず2人以上で作業してください。

※戸車がレールに乗っていることを確認ください（下図）。



現象・兆候	考えられる原因	対処方法
施錠時にクレセント錠がかかりにくくなった。 または、かからない。	建て付けが適切でない。 レールなどにごみなどが付着している。	確認、清掃をしてください。
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。
	クレセント本体とクレセント受けが変形または破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
窓の開閉時に異音がする。 窓がスムーズに開閉しない。	下枠レール部にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。
	戸車がレールに乗っていない(脱輪)。 障子が正常に組み込まれていない。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	戸車に傷、摩耗、軸の変形などが生じている。	
	上枠・下枠レールに傷、変形がある。	
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	
	経年劣化により鴨居が下がり、上枠が下がっている。	
全閉施錠時に窓が左右にガタつく。 (枠内で障子にあそびがある)	クレセント本体とクレセント受けの上下・左右の位置が合っていない。	クレセント錠の調整をしてください。本書「P.58」をご参照ください。
	建て付け調整が適切でない。	戸当たりストッパーの高さ調整をしてください。本書「P.60」をご参照ください。
	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	気密材、戸当たりストッパーなどが経年劣化により摩耗、破損している。	

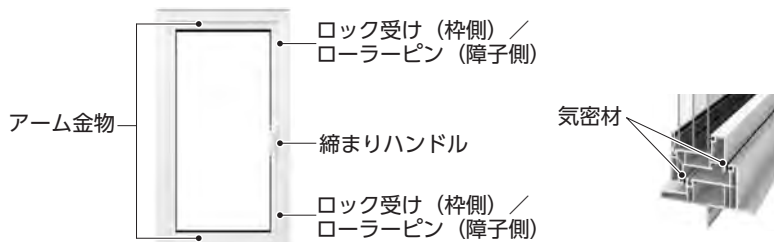
現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉施錠時にすき間風、ほこりなどが入る。 全閉施錠時に下枠部からしびきが入る。	戸車の高さが適切でない。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	クレセント本体とクレセント受けの上下・左右の位置が合っていない。	クレセント錠の調整をしてください。本書「P.58」をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	ねじ穴キャップの脱落がある。	
	経年劣化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
	サッシ上部中央の風止板が経年変化により破損している。	
下枠部に雨水がたまり下枠からあふれるおそれがある。	強い風雨時、下枠に水をためることで水密性能を高める構造になっている。	サッシの不具合によるものではありません。
	排水溝や水抜きキャップにごみが付着している。	清掃をしてください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。

縦すべり出し窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

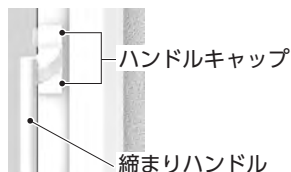
名称



締めりハンドル取付ねじの締め直し

締めりハンドルの台座にガタつきがある場合は、取付ねじを締め直してください。

- 1 ハンドルキャップの横長穴にマイナスドライバーを差し込みゆっくり開ける
- 2 締めりハンドル取付ねじを締め直す
- 3 ハンドルキャップを取付ける

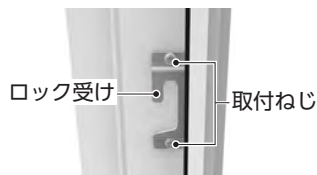


ロック受けの調整

施錠時に下記の状態になっている場合は、サッシ枠に付いているロック受けを調整してください。

- ・ロック受けと窓が干渉する
- ・窓の引寄せが弱い
- ・ハンドル操作が重い

- 1 ロック受けの取付ねじをゆるめる（2ヶ所）
- 2 ロック受けの位置を調整する
・前後±2mm動かすことができます。
- 3 ロック受けの取付ねじを締める（2ヶ所）



注意

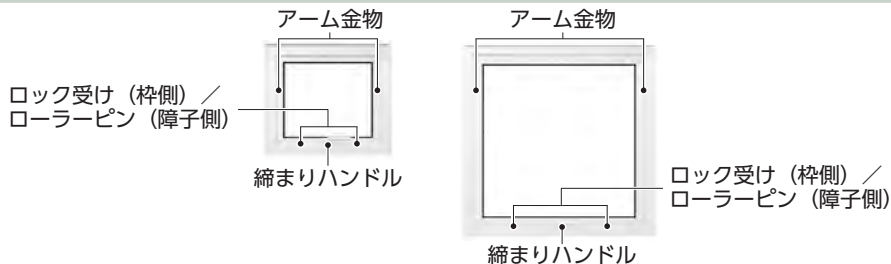
- 調整やお手入れの際は、窓が閉まらないように、必ず片手で障子をおさえながら行ってください。風などで急に窓が閉まると、手や指をはさんで大けがをするおそれがあります。
- 作業を行う際には、落下事故にならないよう注意してください。

横すべり出し窓／大開口横すべり出し窓

ご使用の前に

- ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



締まりハンドル取付ねじの締め直し

締まりハンドルの台座にガタつきがある場合は、取付ねじを締め直してください。

- 1 ハンドルキャップの横長穴にマイナスドライバーを差し込みゆっくり開ける
- 2 締まりハンドル取付ねじを締め直す
- 3 ハンドルキャップを取付ける



ロック受けの調整

施錠時に下記の状態になっている場合は、サッシ枠に付いているロック受けを調整してください。

- ・ロック受けと窓が干渉する
- ・窓の引寄せが弱い
- ・ハンドル操作が重い

- 1 ロック受けの取付ねじをゆるめる（2ヶ所）
- 2 ロック受けの位置を調整する
 - ・前後±2mm動かすことができます。
- 3 ロック受けの取付ねじを締める（2ヶ所）



⚠注意

- 調整やお手入れの際は、窓が閉まらないように、必ず片手で障子をおさえながら行ってください。風などで急に窓が閉まると、手や指をはさんでけがをするおそれがあります。
- 作業を行う際には、落下事故にならないよう注意してください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ハンドル操作が重くなった。 または、閉まらない。	ローラーピンとロック受けの位置が合っていない。	ロック受けを調整してください。本書「P.66」をご参照ください。
	ローラーピン、ロック受けが破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
窓がスムーズに開閉しない。 窓開閉時に異音が出る。	窓を支えるアーム金物に変形や摩耗が生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	窓を支えるアーム金物に砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
開閉時に窓が枠にこする、または当たる。	窓が戸下がりしている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
全閉施錠時にすき間風、ホコリなどが入る。	窓の引き寄せが適切でない。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれを生じている。	
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
窓が開閉できなくなった。	ローラーピンが破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	窓を支えるアーム金物が破損している。	
	締まりハンドルが破損している。	
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
全閉施錠時、サッシ枠と窓の間から水しぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれを生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
締まりハンドルの台座にガタつきがある。	経年変化により取付ねじがゆるんでいる。	ハンドルキャップ (P.66) を取りはずし、ねじを締めてください。 ※ハンドル柄部分のガタつきは不具合ではありません。

高所用換気窓

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



オペレータ

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
窓がスムーズに開閉しない。障子開閉時に異音が生ずる。	窓を支えるアーム金物に変形や摩耗が生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	窓を支えるアーム金物に砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
	オペレータ本体の故障。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
全閉施錠時、枠と障子の間から水しぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。

⚠️ 注意	●作業を行う場合には、転落したり落下事故にならないように注意してください。
🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●操作ひもを体に巻きつけたり、引っ掛けたりしないでください。お子様が操作ひもに手が届いてしまうと窒息など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。 ●操作ひもの近くにベッドやソファなど、踏み台になるようなものを置かないでください。お子様の手が操作ひもに届きやすくなり大変危険です。 ●操作ひもなどにぶら下がったりしないでください。操作ひもなどが破損し、思わぬ事故やけがにつながる可能性があります。特にお子様には注意してください。

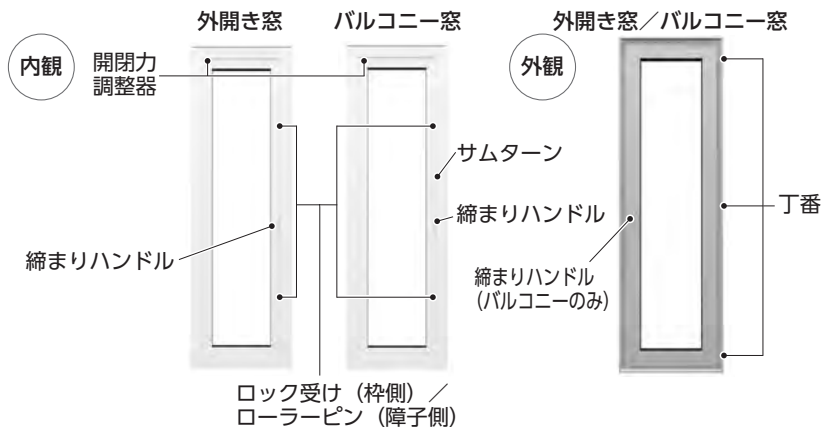
外開き窓／バルコニー窓／勝手口ドア

ご使用の前に

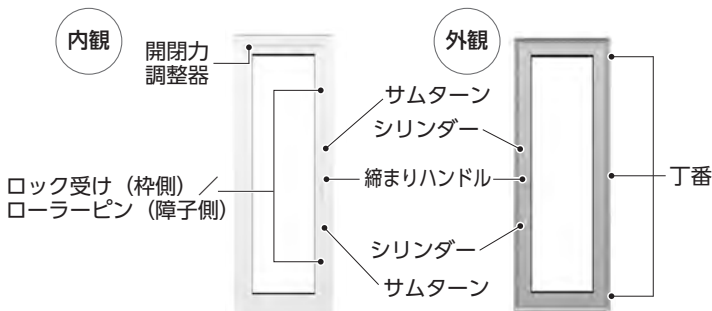
●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称

外開き窓／バルコニー窓



勝手口ドア



△注意

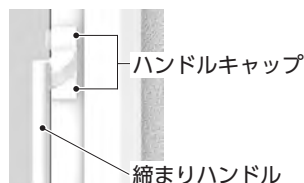
- 開閉力調整器を調整する際は、窓が閉まらないように、必ず片手で障子をおさえながら行ってください。風などで急に窓が閉まると、手や指をはさんで大けがをするおそれがあります。
- 調整ねじの締め方がゆるいと、丁番へ大きな衝撃が加わり、丁番が変形することがあります。
- 作業を行う際には、落下事故にならないよう注意してください。

各部位の調整

締まりハンドル取付ねじの締め直し

締まりハンドルの台座にガタつきがある場合は、取付ねじを締め直してください。

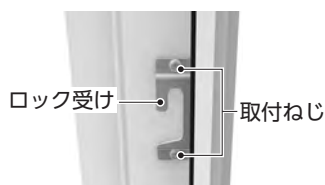
- 1 ハンドルキャップの横長穴にマイナスドライバーを差し込みゆっくり開ける
- 2 締まりハンドル取付ねじを締め直す
- 3 ハンドルキャップを取付ける



ロック受けの調整

施錠時障子の引寄せが弱かったり、ハンドル操作が重い場合はサッシ枠に付いているロック受けを調整してください。

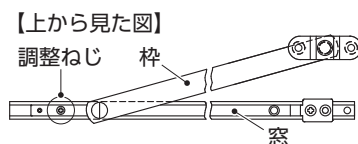
- 1 ロック受けの取付ねじをゆるめる (2ヶ所)
- 2 ロック受けの位置を調整する
 - ・前後±2mm動かすことができます。
 - ・ロック受けスペーサーを抜いて調整し、必要に応じてロック受けスペーサーを差込んでください。
- 3 ロック受けの取付ねじを締める (2ヶ所)



開閉力の調整

窓の開閉が重かったり軽すぎる場合は、開閉力調整器の調整ねじをまわして調整してください。

- 1 窓を開ける
- 2 プラスドライバーで調整ねじを調整する
 - ・【時計まわり】：開閉が重くなります。
 - ・【反時計まわり】：開閉が軽くなります。



※開閉力調整器は、製品によっては吊元側の上下に付きます。この場合は上下とも調整してください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ハンドル操作が重くなった。 または、閉まらない。	ローラーピンとロック受けの位置が合っていない。	ロック受けを調整してください。本書「P.70」をご参照ください。
	ローラーピン、ロック受けが破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
窓がスムーズに開閉しない。 障子開閉時に異音がある。	開閉力調整器に変形や摩耗が生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	開閉力調整器に砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。
開閉時に窓が枠にこすれる。 または、当たる。	窓が戸下がりにしている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
全閉施錠時にすき間風、ホコリなどが入る。	窓の引き寄せが適切でない。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれを生じている。	
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	
窓が開閉できなくなった。	ローラーピンが破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	開閉力調整器が破損している。	
	締まりハンドルが破損している。	
	経年変化により柱が傾き、サッシ枠が傾いている。	

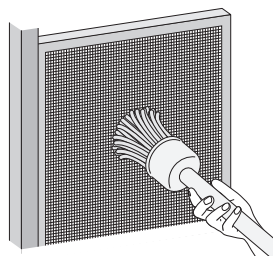
現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉施錠時、枠と障子の間から水しぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれを生じている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
締まりハンドルの台座にガタつきがある。	経年変化により取付ねじが緩んでいる。	ハンドルキャップ (P.70) を取りはずし、ねじを締めてください。 ※ハンドル柄部分のガタつきは不具合ではありません。
鍵の差し込みが固い。 または、差し込んでもスムーズに操作できない。	合鍵が正規の鍵と一致していない。	正規の鍵で操作してください。
	鍵穴内部が凍結している。	市販の凍結防止剤・解氷剤 (スプレー式) を吹きかけてください。 ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。
	鍵穴内部に汚れ、ほこりが付着している。	鉛筆の芯の粉を鍵にまんべんなくつけて2~3回出し入れした後、まわしてください。それでも操作できない場合は、錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、建築会社様、施工店様に修理依頼をしてください。 ※鍵穴にミシン油などを注入すると、鍵穴内部にゴミが付いて故障の原因になりますので、絶対にやめてください。
	鍵が変形している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
錠がかかりにくくなった。 または、かからない。	鍵が破損している。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。

網戸のお手入れ

お手入れについて

日頃のお手入れ方法

- ①網ネットに付いた砂や綿ぼこりをハタキで軽く払うか、掃除機で吸い取ってください。
 - ②軽く絞った雑巾で拭きとってください。この時、両側から挟むようにするとよりキレイになります。
- ※掃除機を使用する場合は先端にブラシなどが付いたノズルを使ってください。

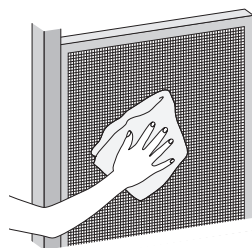


△注意

- お掃除の際、ネットを強く引っ張らないでください。網戸破損の原因となります。

しつこい汚れのお手入れ方法

- ①薄めた中性洗剤をスポンジなどにつけ、軽くこすりながら拭いてください。
- ②水をつけて固く絞った雑巾でネットを挟み、洗剤を拭き取ってください。



△注意

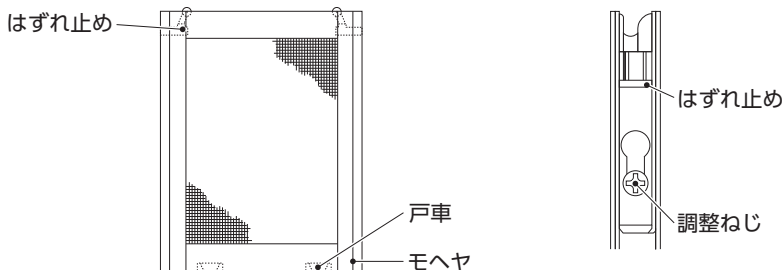
- 汚れがひどい場合でも金属ブラシでネットやアルミ枠部分をこすらないでください。破損やキズの原因となります。
- お手入れの際にはシンナー・ベンジン・アルコール磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。変色や劣化の原因となります。

引違い網戸

ご使用の前に

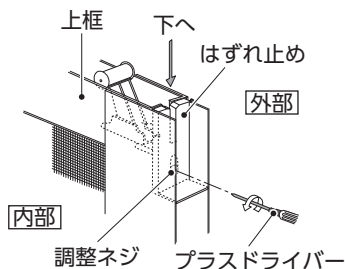
- ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5) をご確認ください。

名称





はずし方

- 1 網戸上部の両サイドにあるはずれ止めの調整ネジを左へまわしゆるめる
- 2 はずれ止めを下げる
- 3 網戸を持ち上げ、外側へ網戸を押し出してレールからはずす



取り付け方

- 1 網戸の上部を網戸用レールに挟み上げ、室内側に網戸を寄せ、下のレールに乗せる
- 2 網戸上部にあるはずれ止めを上げ、調整ネジをまわし固定する
・左右ありますので、忘れず行ってください。

 警告	●はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がサッシ枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
 注意	●網戸コーナ一部に手を触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。

網戸の建付け調整

網戸とサッシ枠との間に、すき間が生じる場合は、網戸下部両端の戸車を調整してください。

戸車の調整

- ①網戸を上げたい場合…時計まわり
- ②網戸を下げたい場合…反時計まわり



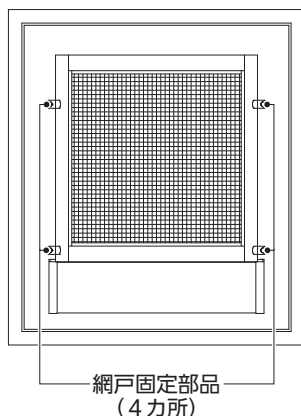
現象・兆候	考えられる原因	対処方法
網戸がスムーズに開閉しない。	網戸用レールにゴミなどが付着している。	清掃してください。
	はずれ止めの高さが適切でない。	建築会社様、施工店様に修理依頼をしてください。
	戸車がレールに乗っていない（脱輪）、網戸が正常に組み込まれていない。	
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	
	網戸のすき間ふさがり材の当たりが強すぎる。	
	網戸が反っている。	
	網戸用レールにキズ、変形がある。	
	網戸のモヘヤに経年変化によりねじれ、傷み、亀裂、ちぎれが生じている。	
網戸がはずれる、または落下する。	はずれ止めの高さが適切でない。	建築会社様、施工店様に修理依頼をしてください。
	はずれ止めが破損している。	
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	
窓の開閉時に網戸が一緒に動く。（共走りする）	網戸が脱輪している。	建築会社様、施工店様に修理依頼をしてください。
	網戸が反っている。	

高所用換気用網戸

ご使用の前に

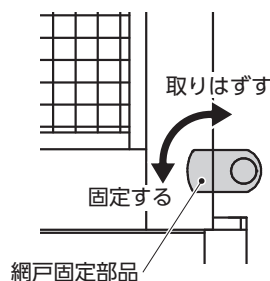
- ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5)をご確認ください。

名称



はずし方

- 1 網戸固定部品を90度回転させる
- 2 網戸を持ち上げゆっくり取りはずす



取り付け方

- 1 網戸を網戸固定部品の内側にセットする
- 2 網戸固定部品を90度回転させ固定する

⚠ 警告

●網戸の取りはずし、取付けの際は、網戸を落下させないよう十分注意してください。また脚立などを使用する場合は、転落や網戸が落下しないよう十分注意してください。

! 指示

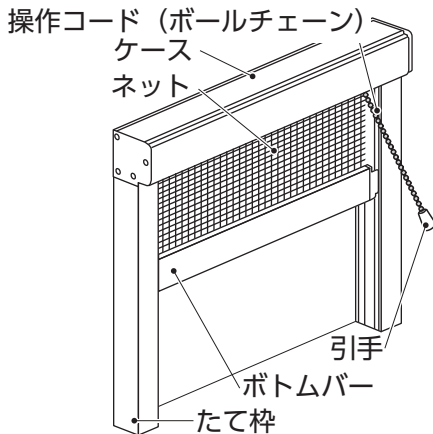
●お手入れなどで網戸をはずした後、再びサッシ枠に取付けたときは、網戸が網戸固定部品で4カ所固定されていることを確認してください。

縦ロール網戸（ループレス仕様）

ご使用の前に

- ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』（P.5）をご確認ください。

名称



お知らせ

- 網戸全開時、ボールチェーンのボールピッチにより引き残りが発生する場合があります。これは商品の特性上、ゆっくりと開閉操作を行うことで軽減されます。引き残り量は個体差や使い方によって変わり、引き残りは開閉ごとに起こります。
- 開閉操作中は引手・ボールチェーンから手を離さないでください。また、ボトムバーを持って無理に網戸を引っ張らないでください。

引き残りの調整方法

- 1 引手を手前に引き、ボールチェーンをストッパーから外す
- 2 引手を持ったままゆっくり操作し、ボトムバーを自重で下げる
- 3 引手をゆっくり操作して手前に引き、ボトムバーを上げる
- 4 引手を軽く引き、引き残りがなくなる位置でボールチェーンをストッパーに引っ掛ける

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
網戸が下りない。	強風により、一時的に途中で停止している。	特に故障ではないため、風が止むのを待って操作してください。室内ドアや他の窓を閉めて風の通りを遮るなどの対処をしてください。 または補助的にボールチェーンを操作してロックを解除しながらボトムバーを手で下げてください。
網戸がスムーズに開閉しない。	ボトムバーがレールを通るときに引っ掛かっている。	引っ掛かりがあるレール部分を確認し、ネットが通っている隙間にシリコンスプレーを吹付けください。

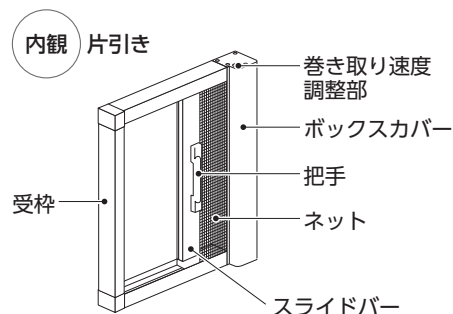
横引きロール網戸／アップロール網戸／横引き網戸 (バリアフリー横引き網戸)

ご使用の前に

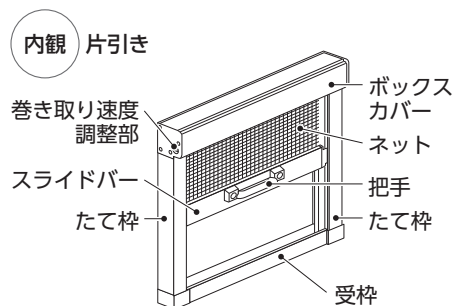
●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5) をご確認ください。

名称

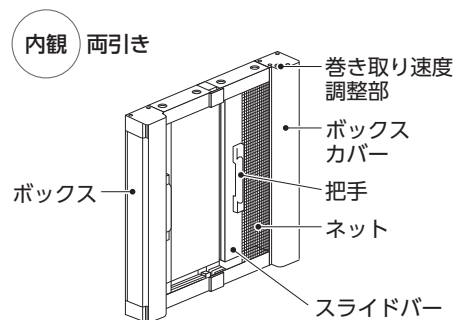
横引きロール網戸



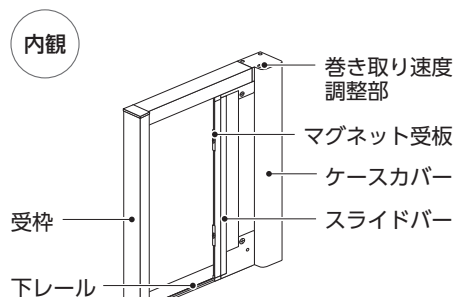
アップロール網戸



横引きロール網戸 (両引き)



横引きロール網戸 (バリアフリー横引き網戸)

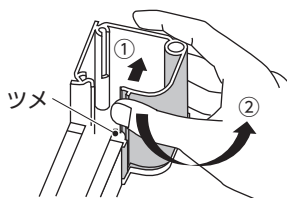


巻き取り速度の調整方法

本製品は、製造時に調整を行っていますが、取り付け場所や使用頻度により収納速度の調整が必要になります。

1 ボックスカバーを右図のように開く

カバーは①の方向に力をかけて、ツメのかけりをはずしながら②の方向に開いてください。

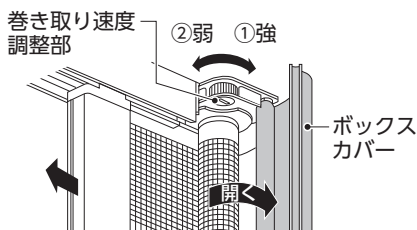


2 巻き取り速度調整部が見えるまでネットを引き出す

3 マイナスドライバーで、巻き取り速度調整部を強／弱の方向に回転させる

①強の方向にまわす…収納度が上がります。

②弱の方向にまわす…収納度が下がります。



※図は網戸本体が内観右側の場合を表しています。
内観左側の場合は、調整部は下側となります。

⚠注意

●ボックスカバーを開くと、ネット本体が取りはずし可能な機構となっています。落下のおそれがありますので、開いたまま手を離れた状態で放置しないでください。

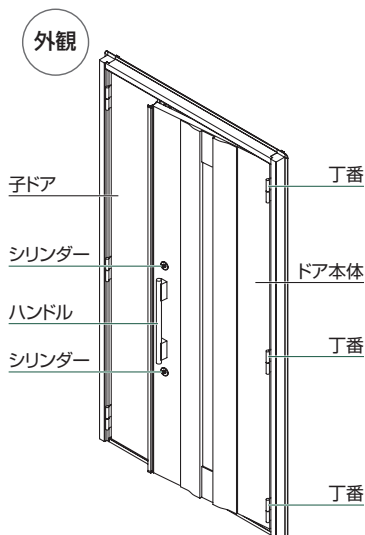
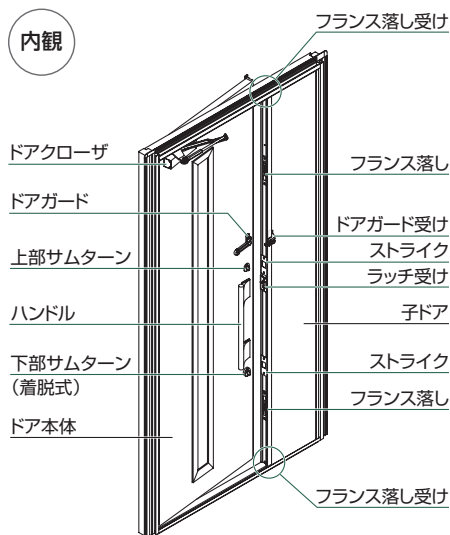
現象・兆候	考えられる原因	対処方法
網戸がスムーズに開閉しない。	網戸枠が傾いて取付いている。	建築会社様、施工店様に修理を依頼してください。
	網戸枠の取付け幅が正確ではない。	
	網が網戸枠内レールからはずれている。	
網戸の収納速度が速すぎる。 または、遅すぎる。	網戸の巻き取り速度の調整が適当ではない。	巻き取り速度調整部の調整を行ってください。

玄関ドア

ご使用の前に

●ご使用の前に必ず『安全にご使用いただくために』(P.5)をご確認ください。

名称



開き勝手について			
	片開きドアの場合	親子ドアの場合	
右勝手 (R)			
左勝手 (L)			
	室外側	室外側	室外側

※親ドアは、室外側から見て吊元 (▲) が右にあるものが右勝手 (R)、吊元 (▲) が左にあるものが左勝手 (L) です。

※子ドアは、室外側から見て吊元 (△) が左にあるものが右勝手 (R)、吊元 (△) が右にあるものが左勝手 (L) です。

ハンドル・ロック

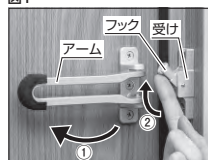
	アーチタイプ	洋風タイプ	ソリッドタイプ	ロングバータイプ	電気錠一体タイプ (eハンドル)
室外側ハンドル					
室内側ハンドル					

	シリンダー	手動錠	e・エントリ
	GPタイプ	PSタイプ	
室外側シリンダー			
室内側サムターン	上部	上部	上部
	下部	下部	下部

ドアの開け方・閉め方（外出時） ※右勝手（R）手動錠の場合を例に説明

1 ドアガードを倒し、ドアガード受けのフックを
起こしドアガードを解除（図1）

図1



2 ハンドルの上下にあるサムターンを90°まわし
解錠（図2）

※（図2）は室内側から見て右側が開く（右勝手R）のドアです。
（左勝手L）の場合は、まわす方向が逆になります。

図2

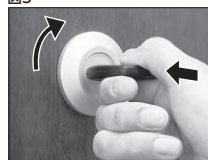


3 ハンドルを押してドア本体を開ける＜室外側に出る＞

4 ハンドルの中央を持って押しドア本体を閉める

※ドア本体を無理に閉めないでください。ドアクローザーの油漏れや故障の原因となります。

図3



5 ハンドル上下のシリンダーに鍵（キー）を奥まで
差込み90°まわして施錠

※防犯のため、必ず上下両方を施錠してください。

※（図3）は室内側から見て右側が開く（右勝手R）のドアです。

6 鍵（キー）を抜く

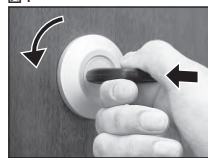
※ハンドルを引いてドア本体が開かないことを確認

ドアの開け方・閉め方（帰宅時） ※右勝手（R）手動錠の場合を例に説明

1 ハンドル上下のシリンダーに鍵（キー）を奥まで
差込み90°まわして解錠（図4）

※図4は室内側から見て右側が開く（右勝手R）のドアです。

図4



2 鍵（キー）を抜く

3 ハンドルの中央をもって引き、ドア本体を開ける
＜室内側に入る＞

図5



4 ハンドルを押し、ドア本体を閉める

※ドア本体を無理に閉めないでください。ドアクローザーの油漏れや故障の原因となります。

5 ハンドルの上下にあるサムターンを90°まわし
解錠（図5）

図6

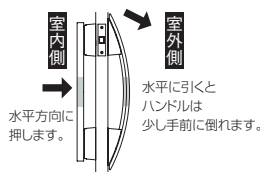
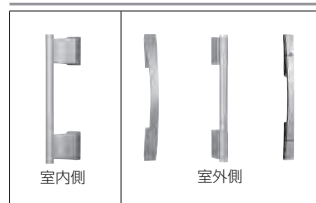


6 ドアガードの受けのフックを倒してからアームを
起こしドアガードをセット（図6）

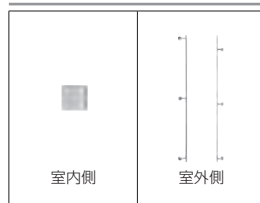
ハンドルの操作方法

※右勝手 (R) の場合を例に説明

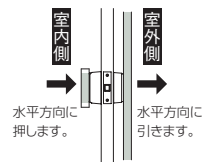
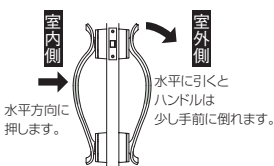
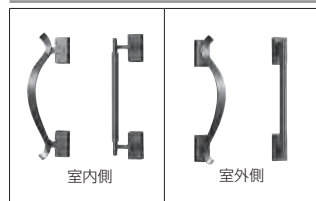
アーチタイプ／バータイプ／電気錠一体タイプ (eハンドル)



ロングバータイプ



洋風タイプ／ソリッドタイプ



■部を持って操作します。

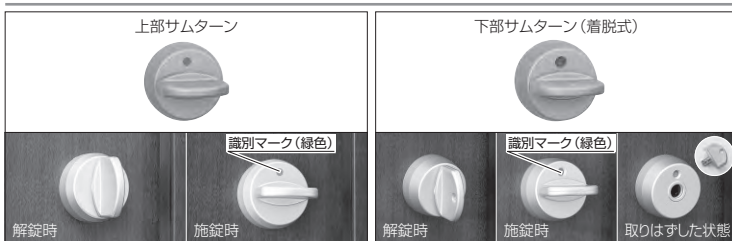
手動錠について

GPタイプ

室外側シリンダー



室内側サムターン

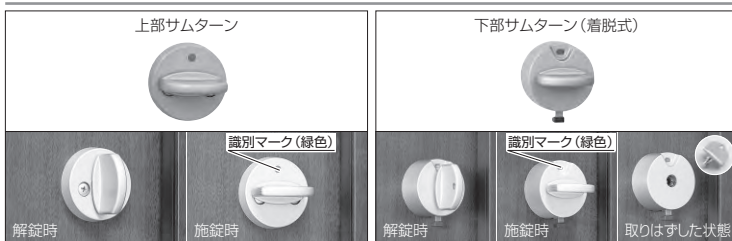


PSタイプ

室外側シリンダー



室内側サムターン



ドアガードのセット方法

片開きドアの場合（室内側）

※右勝手（R）場合を例に説明

室内側



ドアガード

1 ドア本体を閉めた状態で、ドアガードの受けのフックを倒す

※ドア本体を開けた状態で受けのフックを操作しないでください。

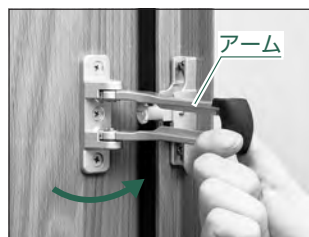
※受けのフックを出した状態でドア本体を開閉しないでください。



2 アームを手で持って起こし、受けのフックにかける

※この状態でドア本体を開けると、アームが受けのフックに引っかかり、一定以上ドア本体が開きません。

※ドア本体を開けた状態で受けのフックを操作しないでください。



3 ドア本体を開け、ドアガードをセットする



※ドアガードの解除方法は、セット方法の逆の手順で行ってください。

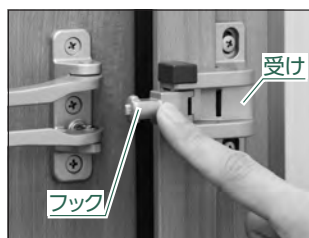
室内側



1 ドア本体を閉めた状態で、ドアガードの受けのフックを起こす

※ドア本体を開けた状態で受けのフックを操作しないでください。

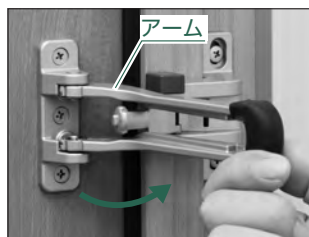
※受けのフックを出した状態でドア本体を開閉しないでください。



2 アームを手で持って起こし、受けのフックにかける

※この状態でドア本体を開けると、アームが受けのフックに引っかかり、一定以上ドア本体が開きません。

※ドア本体を開けた状態で受けのフックを操作しないでください。



3 ドア本体を開け、ドアガードをセットする



※ドアガードの解除方法は、セット方法の逆の手順で行ってください。

ドアガードの採風機能セット方法

ドアガードのセット

※右勝手（R）場合を例に説明

室内側



- 1 ドア本体を閉めた状態で、ドアガードの受けのフックを倒し、アームを起こす

※P.83「ドアガードのセット方法」を参照してください。



- 2 ドアガードが止まる位置までドア本体を開ける



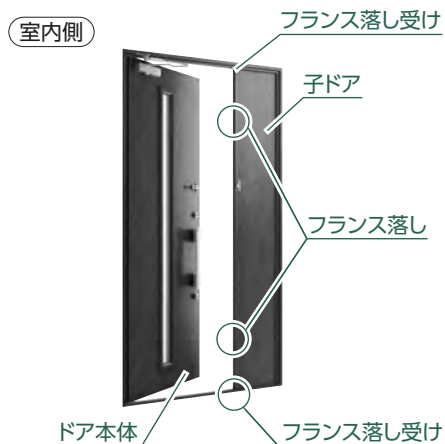
- 3 アーム先端を押し、フックに引っ掛けてドア本体を固定する

※手や指をはさまないように十分ご注意ください。

※ドアガードの採風機能解除方法は、採風機能セット方法の逆の手順で行ってください。



子ドアについて



大きな荷物を入れるときなどに子ドアを開けると、開口部が広がります。子ドアを解除・固定するフランス落しは上下に2ヶ所あり、子ドア内部のロッド棒がフランス落し受けに突き出して子ドアを固定します。

お知らせ

- 子ドアを開けるときには、壁などにぶつけないようにご注意ください。
- 子ドアを開閉しないときは、必ずフランス落しをセットして子ドアを固定してください。
- 必ず子ドアを先に閉めて固定してから、ドア本体を閉めてください。
- フランス落し受けにゴミが詰まらないように、定期的にお手入れをしてください。
- 子ドアの開閉時に下端部が足に当たらないようにご注意ください。足をはさみけがをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉時にはご注意ください。

子ドアの操作方法

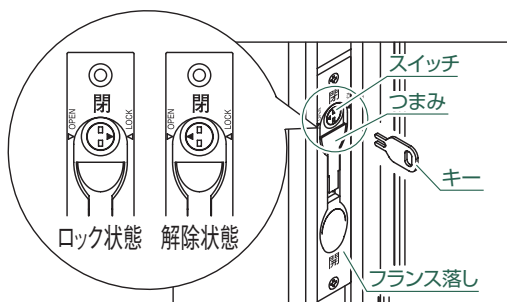
※右勝手（R） 場合を例に説明

- 1 ドア本体を開ける
- 2 子ドア側面上部にあるフランス落しのつまみを上げる



上部フランス落し

- 3 子ドア側面下部にあるフランス落しのキーをスイッチに差し込み、押しながらスイッチの▲印を「OPEN」の△印の位置まで左にまわし、ロックを解除する



- 4 フランス落しのつまみを「開」の方向へ下げ、ランス落としを解除して子ドアを開ける



下部フランス落し

※下部のみロック機構付です。

※子ドアの閉め方は、開け方の逆の手順で行ってください。

ドアクローザについて

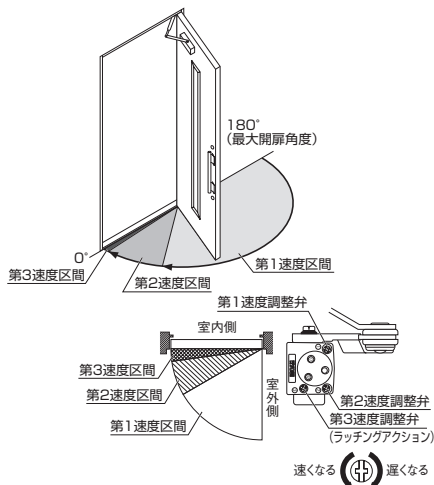
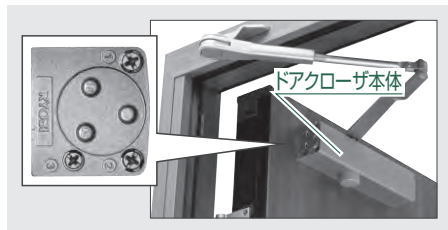
リョービ製の場合

右勝手（R）の場合を例に説明します

リョービ製には、標準タイプ ドアクローザと、バックチェック機能付ドアクローザがあります。タイプ別の調整方法をご確認ください。別途専用の取扱説明書がありますので、あわせてご覧ください。

標準タイプ ドアクローザの場合

ドア本体から手を離して自然に閉まる時の2つの区間の速度と、閉まりきる直前でドア本体を素早く閉める（ラッチングアクション）速度を調整できます。

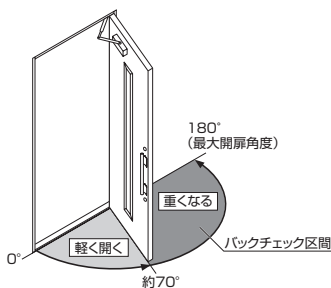


※必要以上にラッチング速度を速くしないでください。速くしすぎた状態で指をはさむと、けがをするおそれがあります。

バックチェック機能付ドアクローザの場合

強風や外力などにより、急激にドア本体が開いてしまうことを防ぐために約70°から油圧が働いて急激にドア本体が開くことをおさえる機能を、バックチェック機能といいます。

バックチェック機能付ドアクローザは、開扉時約70°程度からドア本体のあおり防止が働き多少重くなりますが、故障ではありませんのでゆっくり開いてください。



■バックチェック区間の強さ調整について

バックチェック区間の強さ調整には、専門的な技術が必要となります。

バックチェック区間の強さ調整が必要な場合は、ご自分で調整や分解をせず、必ずご購入された建築会社様、工務店様、販売店様にご相談ください。



ドアのお手入れ

アルミ・ステンレス製商品のお手入れ

- 汚れは、柔らかい布、スポンジ（※1）などを使用して水洗いにより、洗い落としてください。金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食の原因となりますので、使用しないでください。
- 水洗いで取れない汚れは、薄めた台所用合成洗剤（液性：中性）（※2）を柔らかい布などに含ませ、拭き取ってください。洗剤使用後は、洗剤分が残らないように十分に水洗いを行い、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食の原因となりますので、使用しないでください。



レール（下枠）のお掃除

- レール・下枠は砂やほこりのたまりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的に掃除をしてください。掃除の方法は、ブラシやハケで砂ほこりを落とし、割り箸の先に布を巻きつけたもので拭き取れば、さらにきれいになります。
- アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、異種金属接触腐食をおこすことがあります。サッシのレールに釘やヘアピンなどを放置しないでください。
- 排水キャップのついたレールについては、キャップの目詰りを防止するために掃除機で定期的に掃除をしてください。

樹脂シートをラミネートした商品のお手入れ

- 表面についた砂やほこりをていねいに取り除いてください。
- 汚れは、柔らかい布、スポンジ（※1）などを使用して水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、薄めた台所用合成洗剤（液性：中性）（※2）を柔らかい布などに含ませ、拭き取ってください。
- 洗剤使用後は、洗剤分が残らないように十分に水洗いを行い、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。

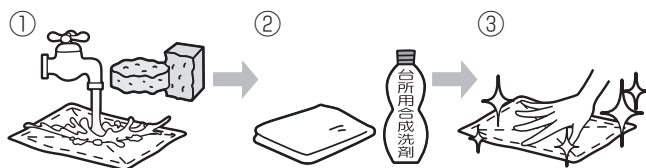


お手入れのご注意

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 樹脂シートの表面はキズがつきやすいので、お掃除の際には柔らかい布やスポンジ（※1）などを使用してください。金属たわしや金べら、高圧洗浄機は、樹脂シートの表面にキズがつく原因となりますので、使用しないでください。

錠（外装部）・ハンドル（把手）のお手入れ

- 柔らかい布に水を浸し、表面についた砂やほこりを洗い落としてください。柔らかい布、スポンジ（※1）で全体を水拭きしてください。…①
- 水拭きで落ちない場合は、薄めた台所用合成洗剤（液性：中性）（※2）を柔らかい布などに含ませ、拭き取ってください。…②
- 洗剤使用後は、洗剤分が残らないように十分に水洗いを行い、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。…③



※1 スポンジを使用する場合は、スポンジの取扱説明書を確認してください。

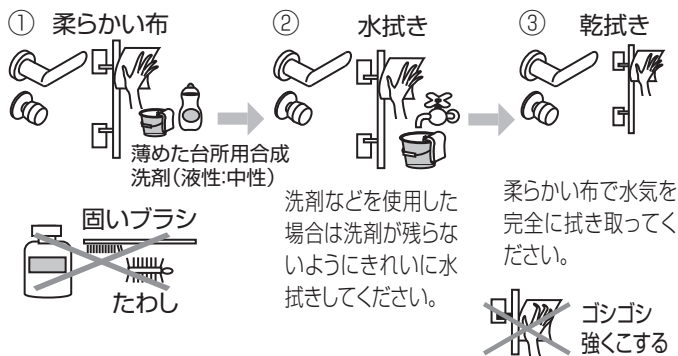
※2 洗剤を使用する場合は、洗剤の取扱説明書を確認してください。

お手入れのご注意

- 酸、アルカリ、塩素系などの化学薬品で洗淨しないでください。
錠やハンドルにさびや変色が発生するおそれがあります。

汚れの程度によるお手入れ方法

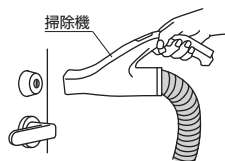
- 水では落ちにくい汚れのお手入れ方法
..... ①②③を行ってください。
- 風雨のかかった後のお手入れ方法
..... ②③を行ってください。
- 軽い汚れのお手入れ方法（定期的な掃除）
..... ③を行ってください。



鍵（キー）・鍵穴（シリンダー）のお手入れ

鍵の抜き差しがスムーズでない（または重い）場合

- 掃除機を鍵穴につけ、中のゴミを吸い出します（パソコンのキーボードゴミを飛ばす「エアダスター」などでもよいです）。



- 鍵のすべての切り込み部を鉛筆（先端の黒芯）でなぞるように黒く塗り、その鍵を鍵穴に挿入して数回抜き差しをしてください。鍵の抜き差しがスムーズになります。また、一度でスムーズにならない場合は同じ方法を繰り返してください。



- 鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉を布などで拭き取ってください。付着したまま使用されますと、衣服などを汚す場合があります。

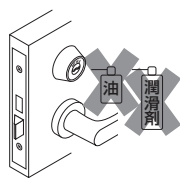


- 鍵の刻み部分や溝部の汚れ（ゴミやほこり）で動きが悪くなる場合があります。鍵が汚れた場合は、歯ブラシなどで刻み部分や溝の汚れをかき出してください。

お手入れのご注意

- 鍵穴に注油しないでください。ほこりが付着し、油がほこりを呼び動きを悪くします。

※別途専用潤滑剤（オプション品）を用意しています。ご購入された建築会社様、工務店様、販売店様にお問い合わせください。



修理・メンテナンス

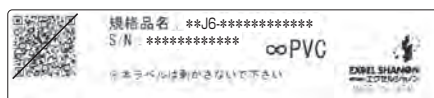
修理依頼について

長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみ、窓のガタつきなどの不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になります。対処方法が本説明書に記載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、施工店様または、建築会社様にご相談ください。

その際、修理対象依頼の窓に製品ラベルが貼り付けしてある場合は、規格品名、サイズ、ロットNo.などをあらかじめご確認いただきますようお願いいたします。

製品にはロットナンバーを印字してあります。

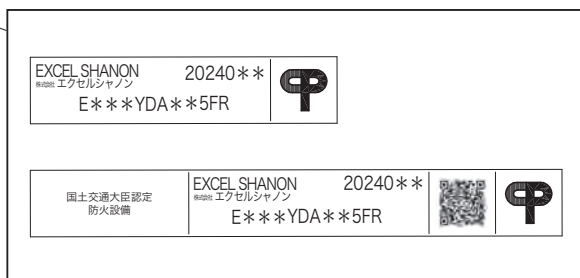
(障子・枠・ガラスなど各々に銀色ラベルなど印字)



玄関ドアの場合



室内側



商品保証について

当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下、「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱の建築会社様、工務店様または販売店様に修理をご依頼ください。

■保証期間

建築会社様よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間。ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。食器用中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起さる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑦ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの動物に起因する不具合・虫害
- ⑨ 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩ お客様自身の組み立て、取付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
- ⑪ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑫ 犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
- ⑬ 強風時の飛来物、または人為的な飛来物による損傷または不具合
- ⑭ 標高1,000m以上に使用し、事前に打ち合わせが行われなかった場合
- ⑮ 複層ガラスにマークが打刻されていない場合
- ⑯ 熱割れや、強化ガラス（耐熱強化ガラス含む）の自然破損
- ⑰ 樹脂に影響を与える有機溶剤などの接触で生じた不具合（例えば、ソルベントクラック、薬品割れや剥離など）

※次のような消耗部品は有料となります。

気密材（ガラス押えビード、戸当たり気密材、モヘア）、風止板、虫止板、外れ止め、ストッパー、振れ止め、調整器、チリ調整具、補助錠、引手、締りハンドル、補助ロック、開放制限ストッパー、アシストハンドル、戸車、サムターン、水抜きキャップ、網戸の網、網押さえなどの合成樹脂製部品

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

補修用部品の保有期間について

・商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は、当社における商品販売終了後10年間で。ただし、商品販売終了後10年間に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は、代替の商品をご提供させていただくこともありますのでご了承ください。

・補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。

※機器等の専用の取扱説明書のあるものについては除きます。各々の取扱説明書をご確認ください。

商品保証について（玄関ドアの場合）

当社では、お客様が商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法、商品保証などの重要な内容を記載した取扱説明書をご用意しております。取扱説明書を、必ずお客様に手渡ししていただくようお願いいたします。なお、商品保証については、取扱説明書に以下のように記載しておりますので確認してください。

商品保証について

当社の住宅用建材商品に関して、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下、「不具合」といいます）が発生した場合には、まずはご購入された建築会社様、工務店様、販売店様に修理をご依頼ください。

■保証期間

建築会社様よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）。ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容

取り扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。（詳細は取扱説明書の「窓の性能について」の□水密性能をご参照ください）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。台所用合成洗剤（液性：中性）以外のクリーニング剤を使用したことによる）
変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）、経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
- ⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥商品または部品の材料特性に伴う現象
(例えば、木商品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑦天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合・虫害
- ⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
- ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※次のような消耗部品は有料となります。

ガラスパッキング、タイト材、モヘア、風止め板、はずれ止め、振れ止め、ホールプレート、小口カバー、障子ストッパー、戸当り、戸車、操作つまみ、雨戸袋ガイド、水抜き具、網戸の網、網押さえロープなどの合成樹脂製部品

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※修理、交換などのアフターメンテナンスに関しては、ご購入された建築会社様、工務店様、販売店様にお問い合わせください。

※この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、お近くの当社営業所にお問い合わせください。

※当保証は日本国内に適用されるものとしませんが、日本国外に納品されたものについては、適用されないものとします。

■補修用部品の供給について

- ・商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。ただし、商品販売終了後10年間に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は、代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください
 - ・補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。
- ※機器等の専用の取扱説明書のあるものについては除きます。各々の取扱説明書を確認ください。

エクセルシャノン ベルカム5 複層ガラスの内部結露に関する商品保証について

本書は、以下に記載の対象商品の複層ガラスの中空層に、ここに記載の保証期間内に、取扱説明書、本体ラベルまたはその他注意書きに基づく適正なご使用状態で結露（以下、「本件不具合」といいます）が生じた場合、代替品（本件不具合が生じた複層ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種）を無料で提供・交換することをお約束するものです（本件不具合による複層ガラス以外に発生した被害は保証の対象外とさせていただきます）。保証期間中、対象商品の複層ガラスに本件不具合が発生した場合には、まずはお購入された建築会社様、工務店様、販売店様にご相談ください。

■保証期間 対象商品の製造日から10年間

■免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には保証対象外となります。

- ①複層ガラスが、当社の手配によらない第三者により調達または交換されたものである場合
- ②火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合
- ③使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合
- ④複層ガラスに亀裂または損傷がある場合
- ⑤熱割れなどのガラス破損
- ⑥複層ガラスの中空層部以外の結露
- ⑦高温または多湿の条件下でご使用された場合（温プール、サウナルームなど、ただし一般浴室は除く）
- ⑧標高1,000m以上でのご使用で、当社と事前に打ち合わせが行われなかった場合
- ⑨表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ⑩複層ガラスもしくは、その商品特有の構造上発生しうる現象（複層ガラスの干涉縞、ゆがみ、ヤケなど）
- ⑪犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
- ⑫事前の打合せで商品保証の対象外であることをご了承いただいている場合
- ⑬対象商品に当社が組み込んだ複層ガラスであること、または当社が対象商品とともに販売した複層ガラスであることが確認できない場合
- ⑭実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑮カタログなどに注意事項として事前に告知されている現象

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※この「複層ガラスの内部結露に関する商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、お近くの当社営業所にお問い合わせください。

※当保証は日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては、適用されないものとします。

【対象商品一覧】

2024年6月現在

「複層ガラスの内部結露に関する商品保証について」（以下、「本保証書」といいます）の対象商品※1は、当社がガラス組み込み商品※2として販売している、以下の表に記載の商品です。なお、本保証書による保証の対象は、特記欄に記載の部位にある複層ガラスのみです。

ベルカム5 K2仕様 ドア本体および子ドアのみ

- ※1 商品の詳細は、当社カタログなどで確認してください。
- ※2 ガラス組み込み商品とは、当社からの出荷時に商品本体にガラスが標準として組み込まれている商品もしくは商品本体に用いるガラスがセットで出荷される商品のことをいいます。なお、ガラス組み込み商品には、当社カタログにおいて、ガラス組み込み済み、障子部ガラス入りまたはガラス入り完成品、その他これに類する表示が原則としてあり、表示価格にガラス代が含まれています。

